

令和2年裾野市議会9月定例会 予算決算委員会 厚生文教分科会（決算審査）

令和2年9月28日（月）、29日（火）

9月28日（月）	教育部	鈴木図書館	・ ・ ・ ・ ・	3
		生涯学習課	・ ・ ・ ・ ・	19
		学校教育課	・ ・ ・ ・ ・	35
		教育総務課	・ ・ ・ ・ ・	48
		学校給食センター	・ ・ ・ ・	58
		健康福祉部	社会福祉課	・ ・ ・ ・ ・
9月29日（火）	健康福祉部	健康推進課	・ ・ ・ ・ ・	80
		介護保険課	・ ・ ・ ・ ・	103
		国保年金課	・ ・ ・ ・ ・	115
		障がい福祉課	・ ・ ・ ・ ・	123
		保育課	・ ・ ・ ・ ・	129
		子育て支援課	・ ・ ・ ・ ・	140
		自由討議	・ ・ ・ ・ ・	150

9時00分 開会

○委員長（杉山茂規） ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配付のとおりであります。

これより、予算決算委員会に付託され、厚生文教分科会に割り振られました認定第1号 令和元年度裾野市一般会計歳入歳出決算の認定のうちの関係部分、認定第2号 令和元年度裾野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第3号 令和元年度裾野市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第4号 令和元年度裾野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定についての審査を行います。

審査の方法は、各課単位で行い、それぞれ当局の説明を求めてから質疑に入りたいと思います。質疑の後、意見を伺います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

ここで各委員に申し上げます。質疑は一問一答方式で、要点を明確に簡潔な質疑をお願いいたします。意見につきましても、要点を明確に簡潔をお願いいたします。

次に、分科会外委員の発言の許否についてお諮りいたします。質疑、意見について、分科会外委員からの発言の申し出があった場合には委員長がその発言の許否を定めたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ご異議ありませんので、そのようにいたします。

なお、分科会外委員の発言は本委員の発言終了後といたします。また、発言の際には録音の関係上必ずマイクをご使用願います。

暫時休憩いたします。

9時01分 休憩

9時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育部

鈴木図書館

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひいたします。359ページの、まず2番のところで、運営審議会を開かれたということで、2段目、第2回の講演打合せの打合せ会結果等というところの内容をお願ひいたします。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 休憩をお願いします。

暫時休憩します。

9時17分 休憩

9時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 協議事項は、令和2年の事業計画についてでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） どのような事業計画だったのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

暫時休憩します。

9時18分 休憩

9時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 ちょっと後ほど回答させてください。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） では、次行きます。同じページの4番、施設管理委託のところで、東西公民館の受付業務、管理業務の委託とあります。これ30年度もそうですけれども、金額が高い上にちょっと随意契約になっているのですけれども、これはどういった形の随意契約なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 こちらは、第何号かはすみません。ちょっと今失念してしまってい

るのですけれども、シルバー人材センターさんとの契約ですので、その旨で契約しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、次のページ、360ページです。先ほどご説明で除籍が2年分4,810冊ということが多くなっていますよというご説明がありましたけれども、こちら除籍というのは4,810冊というのはどういう形、廃却なのか、リサイクルなのか、どういう形になるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 基本的には廃棄でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） リサイクルもしくは売却ということはないということですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 昨年度まではしておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それは何か本的に廃却しなければいけない、もしくは逆に……
暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時22分 休憩

9時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） この廃却ということなのですが、こういった理由なのか
お願いします。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 損傷が激しかったり、汚れがあるというところで廃棄というところ
です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） もうその方法のレベルの判断で基準ということですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時23分 休憩

9時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 損傷が激しかったり、あとは古過ぎたりというところでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

- 委員（浅田基行） では、（3）の不明資料201刷と元年度多いわけですがけれども、こちらどういった不明という資料なのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 こちらは恐らくカウンターを通さずに外に持ち出されたものというところでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 要はチェックといいますか、手続をしなかったということですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 おっしゃるとおりです。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そうしますと、ここまで急激に多くなった、何か管理上で問題があったということになるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 管理上特に変わったところというのはございません。休憩よろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時24分 休憩

9時25分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） すみません。今ちょっとおっしゃっていましたがけれども、対策はどのようにやっているか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 昨年度防犯ミラーのほうの設置と、それから職員が腕章をつけての見回りをするようにいたしました。あとは、館内の注意喚起の掲示をさせていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 今そういう対策をして、今は効果は出ているということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 数字としては本年度R2年度の分については、下がっております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 分かりました。

では次、362ページお願いします。ここで6番の使用量及び賃借のところで聞いていいのかな。こちらですがけれども、やはりシステム料としての金額が高く、これ同

じちょっと質疑になりますけれども、随意契約になっている理由をちょっと教えてください。

- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 休憩よろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時26分 休憩

9時27分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 システムリース料につきましては、システム更新のときにプログラムを行いまして、そちらの業者と随意契約って形になっております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） それは、そこしかないということで決められたということですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 プロポーザルでもって選定した業者になりますので、そちらしかないというところがございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） すみません。そういった中でちょっと中身の今のリース料でいいのか、棚卸して恐らくやられていると思うのですけれども、棚卸してどういう形でやっているか教えていただけますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 大きい棚卸しといたしましては、年に1回蔵書点検のときに全館全ての本について棚卸しをしております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） その年に1回というのは全書というからかなり時間かかると思うのですけれども、どれぐらいかかるって聞けばいいのか。どれぐらいかかりますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 約1週間でございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） その結果というのはどういう形につながるといいますか、管理されているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 その結果が一つ先ほど出ました不明図書なんかこれで分かるようになります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ごめんなさい。年に1回ですけれども、大体いつ頃でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 6月でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これは閉館日、もしくは閉館後、いつどのタイミングなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 毎年日程をあらかじめ決めておいて、市政カレンダーのほうにも休館日として載せさせていただいて、1週間行っております。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時29分 休憩

9時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） よろしくお願ひします。362ページの8番の工事関係で、平成30年度に外壁の西側ですか、終わって、東側を今回防水工事を行ったということで、これで防水工事のほうは完了したということによろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 4面全て完了いたしました。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 363ページですけれども、絵本とおしゃべりのへやとセカンドブックが県の事業ということで、それでこれが3か年の今年度で終了ということで、これに関して協議、今後のこととかどのような協議がなされましたか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 こちらの事業につきましては、昨年度に対して満額とはいきませんが、本年度以降も継続していきたいというところで予算今年度ついております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） これ予算額、これ全額この2つの事業に使われたということでよろしいのでしょうか。

（「休憩お願ひします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時31分 休憩

9時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 県の補助金27万1,000円、こちら2つの事業に振り分けて使っております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 金額分かりますか、振り分けた。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 セカンドブック事業に50万9,900円、ごめんなさい。ちょっと先にしゃべらせてください。それで子育て事業が3万2,952円、これ事業費です。合計54万2,852円に対する半額ということで27万1,000円という形で計算されております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 364ページの16ミリの撮影機ということで、貸出し数というのは今回1回ですか、あるのですけれども、これってやはり取っておかないといけないものなのでしょうか。

（「休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時33分 休憩

9時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 16ミリ映写機につきましては、大分需要減ってきてございます。ただ、こういった文化残していきたいという意味合いではなかなか修理も難しくはなってきたはいるのですけれども、壊れるまでは使っていきたいなどは考えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 残す方向ということは分かりました。これに関して、維持費とかは毎年かかるものですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 現在のところ特に修理等発生しておりません。

○委員長（杉山茂規） ほかいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 359ページの1番の公民館の利用状況の関係ですけれども、前年度に比較して利用者数が減少していますけれども、この辺はどういうお考えでしょうか。原因としては。

- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 3月のコロナの影響による減もあると思います。それから、たまたま大きな会議が入ったり入らなかったりという一時的な浮き沈みがあるかなというふうに思います。ですので、東地区のコミュニティセンターについてはちょっと大きな行事が減っているところで確認はできるのですが、東西公民館については特にこれといったふうなところはございません。なので、一応毎年度浮き沈みがある中の減なのかなというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 目標値が3万人に設定してありますけれども、その辺の乖離というか、3万人に満たない、達成できなかった何か理由というものはあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 こちらは、まだまだ使っていただくためのこちらからの宣伝の余地はあるのかなというふうには考えております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 360ページ、それから361ページ関係です。まず、1番の図書館の資料の状況ですけれども、基本的には利用者の希望を把握して、それに充足するような資料が一番必要だと思いますけれども、元年度で購入した中に基本的にはそういう調査を基にしてこの分野を重点にしたとかという、そういうことってあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 アンケート等の調査は行っておりません。ただ、貸出しの履歴等を見てお客様の需要というところは計りながら購入しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 利用希望を把握するにはどういようなものが必要なのかというのは一番簡単に利用者から聴取するのがいいと思いますけれども、アンケート等意識調査をしていないというのは何か特別な理由があるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 特別な理由というところはございません。ただ、個々のリクエストについてはできる仕組みをつくっておりますので、ない本につきましてはお客様のほうからリクエストいただいて、なるべく購入する方向で進めております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 361ページに広域での利用状況の表があります。（1）のほうですけれども、この中に沼津市図書館、ここの登録者数非常に多いのですけれども、利用する。それと逆に言うと（2）のほうで沼津の市民が当市の図書館の利用する登録者数があまり伸びていない、この辺はどういうふうに感じますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長　こちらは沼津市さん、図書館の規模的にも私どもの図書館よりも大きいというところもございます。それから、どうしても裾野市に比べて沼津市のほうが裾野市から何かご用があつて外出される方も多いうところ、このような結果になっているのかなというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規）　土屋委員。

○委員（土屋秀明）　沼津市の図書館の蔵書の中に裾野市はないような特徴のものがあつて、それを多く借りるといふような、その辺というのはどうなのですか。単なる人口だけでなく。

○委員長（杉山茂規）　鈴木図書館長。

○鈴木図書館長　蔵書が多い分、裾野市にはない図書も沼津市では持っていると思います。

○委員長（杉山茂規）　土屋委員。

○委員（土屋秀明）　数的なこともありますけれども、これだけ差があるということは、裾野市になくて沼津にある特徴というものはあるはずですから、逆に言うと沼津の図書館を利用している人たちの意向を確認してその意向を充足するようなものを裾野市の蔵書の中に入れていくべきだと思いますけれども、どうなのですか。

○委員長（杉山茂規）　鈴木図書館長。

○鈴木図書館長　システムといたしまして、各図書館どのお客さんがどういう本を借りているかというふうな状況は外に出せないことになっておりますので、残念ながら調べる方法がございません。

○委員長（杉山茂規）　土屋委員。

（「休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

9時40分　休憩

9時41分　再開

○委員長（杉山茂規）　再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝）　伺います。359ページ、先ほどの公民館の利用者の減のことについて伺います。減少理由を3月のコロナでの減もあったということですが、例年の3月に比べて減少何%ぐらいだったか把握をされていますか。

○委員長（杉山茂規）　鈴木図書館長。

○鈴木図書館長　ちょっと休憩を。

○委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

9時41分　休憩

9時42分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 ちょっと後ほど答えさせていただきます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） すみません。休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時42分 休憩

9時43分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 利用者減をもう少し丁寧に検証したほうがよかったのではないかと思いますが、その辺はいかがでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 利用者減につきましては、これだけの数字出ておりますので、私どもといたしましても利用実績、1件1件全部確認は実はしております。例えば昨年度に比べて多い人数のあった会議が入っていたり、入っていなかったりというところが確認はできたのですけれども、全体的な方向としてこういうところだなというふうな理由までは残念ながら見当たらなかったというところでございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 公民館の運営審議会さんの中などでそういう傾向について何かご意見はありませんでしたか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 本年度につきましてはコロナ禍の中ですので、第1回目の会議につきましては、文書で行わせていただきました。ですので、残念ながら聴取できておりません。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） それ以降何回開かれていますか。ごめんなさい。今年度なのですけれども、何回か開かれています。全然全く。
（「はい」の声あり）
- 副委員長（岩井良枝） 分かりました。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 164ページです。1番の視聴覚教材などについてフィルムの電動クリーナー故障のために貸出し禁止になっていますが、令和元年度の中でこれの以降どうするかという話しはされましたか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長　こちらあれば便利なものなのですけれども、残念ながら部品がなくともう修理が不可でございます。クリーナーにつきましては、手動でも可能ですので、除籍で考えております。代品を購入しようというところも検討したのですけれども、残念ながらこちら後継品はないということでございますので、この後は除籍として手動でということと考えております。

○委員長（杉山茂規）　ほかはいかがでしょうか。
三富委員。

○委員（三富美代子）　決算書の136ページ、図書館管理費、11節の需用費の不用額なのですけれども、これ主な不用額は一般消耗品費でよろしいでしょうか。
（「休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

9時46分　休憩

9時47分　再開

○委員長（杉山茂規）　再開いたします。
鈴木図書館長。

○鈴木図書館長　こちら全体的な不用額積み重ねての数字ですので、消耗品だけではないです。

○委員長（杉山茂規）　三富委員。

○委員（三富美代子）　その件は分かりました。
暫時休憩してください。

○委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

9時47分　休憩

9時48分　再開

○委員長（杉山茂規）　再開いたします。
三富委員。

○委員（三富美代子）　別です。令和元年度に当初で見込んでいた書籍購入につきまして、計画どおりに購入が進んだかどうかの、令和元年度の図書購入について予定どおりに進みましたでしょうか。

（「休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規）　暫時休憩します。

9時48分　休憩

9時49分　再開

○委員長（杉山茂規）　再開いたします。
鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 計画どおり進めております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、令和元年度は何か特徴的な図書購入というの
はあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 令和元年度の特徴といたしまして、まず図書購入費が大分予算額が
削減されてしまいました。その中でどういったところ重点的に行っていこうかとい
うところを検討しまして、文化センターの貸出しが減じておりましたので、文化セ
ンター図書室関係の図書を増やしております。休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時50分 休憩

9時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

（「分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） よろしく申し上げます。360ページの特典財源のところ
ですけれども、屋上緑化の関係が水道料は負担が上がっているのですけれども、2
階の展示等がされていると思うのですが、公有財産の管理規定に基づく貸付けの手
続はどのようになっているか教えてください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時51分 休憩

9時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 屋上薄層緑化の件につきましては、緑花組合さんと行政財産の目的
外使用のほうの手続はしております。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） ここで無償にするという部分についてはどのような議
論がなされているのか教えてください。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 こちら無償であるというところにつきましては、教育部内で協議し

まして、すみません。ちょっと決裁区分を失念してしまっているのですけれども、決裁を受けた上でやっております。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） これらの手続するためには契約書等の添付をして、市長等の決裁をもらうはずなのですからけれども、契約書の中で展示期間等の契約はどのようなになっていますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時53分 休憩

9時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 すみません。契約書のほうちょっと確認をさせていただきたいと思っております。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時54分 休憩

9時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 後ほど答弁させていただきます。

ほかはいかがでしょうか。

賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） お願いいたします。ページとしたら363、364になると思うのですが、2階にある展示室、それから視聴覚室、和室、それぞれいろんなお部屋があると思うのですが、その稼働率というのは確認されていますか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 確認しております。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） 教えていただけますか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 2階の稼働率ですね。展示室につきまして27%、視聴覚室12%、研修室5%です。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（賀茂博美） これらの稼働率を上げるための何か施策のようなもの何か取り組みましたか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

- 鈴木図書館長 2階の諸室につきましては、こちらは図書館の中の部屋でございます、特に貸出し規定等設けておりません。主に私どもが仕事のために、私どもの事業のために使ったりするところでございますので、現在のところは特にこれといった対策は講じておりません。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） 360ページの関係ですが、先ほど図書の購入に対して個々のリクエストに答えているというお話がありましたけれども、これは毎年予算枠というものは取られているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 リクエスト分として幾らというところで予算取っているわけではございませんが、毎年大体これくらいだろうというところを見込みながらはやっております。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） その見込みというのはどのくらいですか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 大体40万円くらいで見込んでおります。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） それでは、元年度に購入された部分でリクエストに応じた冊数というのはわかりますか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
暫時休憩します。

9時57分 休憩

9時57分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 223冊でございます。
- 委員長（杉山茂規） 岡本委員。
- 分科会外委員（岡本和枝） なかなかこういうふうなシステムになっているというの市民の皆さん知らない方多いのではないかと思うのですけれども、その辺は何か広報とかされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。
- 鈴木図書館長 図書館いらっしゃる方にはリクエストのカード、多分お分かりになるように掲示させていただいておりますので、そちらで御覧になっていただけるようになっていると思います。
- 委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で鈴木図書館の質疑を終わります。

暫時休憩します。

9時59分 休憩

9時59分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

鈴木図書館(答弁漏れ)

○委員長(杉山茂規) 鈴木図書館長より答弁漏れにつきましての発言の申出がありましたので、これを許します。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 まず、公民館運営審議会の9月27日分の協議内容につきましてでございますが、すみません。先ほどの件をちょっと訂正させてください。議題としましては、公民館講座講師の情報提供についてということで、公民館講座の講師の先生方と情報交換会のような形で行いました。

それからもう一問でございますが、東西公民館の3月分の平成30年度と令和元年度の率の差でございますが、3月分12%の減でございます。

以上です。

○委員長(杉山茂規) 説明は終わりました。

委員の皆様、質疑等がありますでしょうか。

浅田委員。

○委員(浅田基行) すみません。ありがとうございます。情報交換会ということでしたけれども、講座の中でどのようによくするといいますか、そんなお話はなかったということですか。

○委員長(杉山茂規) 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 こちら行財政改革の中で講座の見直しというところがございます。そちらについてこちらからご意見伺ったところですよ。

○委員長(杉山茂規) 浅田委員。

○委員(浅田基行) それは具体的に決定事項みたいなことまで、決定事項ってあつ

たのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 決定事項というところではございません。ちょっと休憩でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時01分 休憩

10時01分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。了解しました。ありがとうございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で質疑を終わります。

暫時休憩します。

10時01分 休憩

10時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

鈴木図書館（答弁漏れ）

○委員長（杉山茂規） まず初めに、鈴木図書館長より答弁漏れについての発言の申出がありましたので、これを許します。

鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 井出議員からの図書館3階部分の屋上緑化の使用につきましての答弁漏れについてご回答いたします。

こちら行政財産の使用許可でもって環境緑花事業協同組合に免除ということで貸付けしております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長の説明は終わりました。

委員の皆様よろしいでしょうか。

井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） ということは、公有財産の管理規則の中で減免する場合にはその理由だとか、貸付料だとかの試算をしているはずなのですが、そういう手続は取らずにやられているということによろしかったですか。

○委員長（杉山茂規） 鈴木図書館長。

○鈴木図書館長 面積については求めておりますが、額については求めずに免除という形にしております。

○委員長（杉山茂規） よろしいでしょうか。
（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で答弁漏れについてを終わります。
暫時休憩します。

11時16分 休憩

10時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。337ページのところで、1、社会教育委員会の開催状況についてお伺ひします。社会教育委員会を、これ昨年と同じ回数ぐらいやっているのですけれども、提言というところで調査研究とありますが、この辺のどういった委員会が開かれたのかお願ひいたします。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 社会教育委員の任期は2年となります。令和元年、令和2年の2年任期で市に提言書という形で提出をする予定になっておりますので、現在も提言書の協議中です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 元年度が1年目ですので、今ちょうど中間という理念で1回ということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件分かりました。

次、338ページです。青少年教育事業の少年教育事業です。1行目、市子供会の育成連絡協議会が昨年と比べて若干というか、やはりちょっと減っている傾向になっているかと思ひます。この辺というところ何か対策と申ひますか、元年度行ったことありますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらについては、加入数が少なくなっているという現状がござい申ひますが、こちら市の育成子供会についての在り方というのは協議をしなければいけないところだと申ひしております。また、単子について、2子以上での活動についての補助というの申ひ開始して申ひしておりますので、そちらで対応しているというところ申ひです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今後減っていくというところで具体的に検討して申ひなければいけないという話というの申ひは元年度あったの申ひでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらの市子連のほう申ひイベントが中心となっておりますが、そういった内容についても検討して申ひなければいけないというふうなところだと思ひ申ひます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。これからどんどん子供が減っていくという形になるので、よりちょっとやりやすいといえますか、いっていただければと思います。

続けていいですか。一方、わんぱく遊び塾のほうですけれども、こちら塾生はじめ参加者のほうがちょっと増えているところもあり、よくなっている傾向ありますけれども、こちらは非常に改善されているように感じますが、こちらはこういった、よくなっている理由って何なのですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 募集を広く学校のほうに募集したりであるとか、PRに努めさせていただきました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、こちらはかなり効果が出ているということですが、こちらはどのような方向といえますか、今後どのようなふうに行うとお考えですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらのわんぱく遊び塾は、異学年交流とかそういったものを主にやっております。体験型としてはとてもよい事業だと思っておりますので、市のほうでも応援していきたいと考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、ちょっと私はページを飛ばしまして、351ページまで行きます。4番、市民水泳プールで元年度ふれあいプールを市外というところで増やされていきました。こちらが割と大人の、人数も多くなっているのですけれども、この増やす、認めるって何か基準ってあるのですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは、生涯学習課のほうで各施設の利用できませんかというお願いをさせていただいて、いいですよというお答えいただいたところについて利用させていただいています。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。

では、次に、355ページで、2、その他の体育施設で委託をされています。元年度新しく随意契約で3つしております。この辺の委託業務の元年度の内容をお願いいたします。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時29分 休憩

10時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 上から2段目、3段目の微量ポリ塩化ビフェニルのこの廃棄物につきましては、体育館にリニューアルの際に発見されたものになります。変圧器中のポリ塩化ビフェニルを処分しなければいけないという法定で決められたものがありまして、そちらのほうを処分するという単年度のものになります。下から2行目の須山地先のテニスコートの枝打ち、こちらのほうも木が大分大きくなってきて、道路のほうにかかってしまっているという状態が続いておりましたので、そちらのほうの枝打ちを臨時的にやったものです。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 338ページの青年教育事業ですけれども、一番下にあります青年団体連絡協議会で行ったこの事業の中で、中学生の派遣がありますけれども、これの中学生というのはどういう形で、お一人ですけれども、選考されたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 補助申請団体が公募をしています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） この事業の中身というのはどのような中身なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらのほうは、あいづ未来人材育成塾といいまして、福島県の会津大学、福島県の会津若松市等が実行委員会になって中学生を合宿形式で人材育成というところで行っているものになります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 346ページの2番、街頭補導ですけれども、これは従来どおり行われているでしょうけれども、声をかけた、指導を受けたという人数はありますけれども、この傾向というのは中身としてはどういうことが多いのでしょうか。ちょっと休憩で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時32分 休憩

10時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちら、一斉補導とか、この補導については、夜間補導員が行っているものになりますので、コンビニの周りで集団でいたりとか、お祭りのときに少

し遅い時間までいる子、そういう子たちに声をかけているものになります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 数字は前年度との比較が出ていますけれども、少し長いスパンで考えたときに今いわゆる声をかけられる子供たちの中身として、内容というか、行動としては数というのは大分変わってきているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 変わってきていると感じています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 個人的な感覚からすると、いわゆる昔のような不良行為のような集団というのは非常に目につかないと思うのですが、市内では例えば事件に、事故に変わっていくような、そういう子供たちというのはこのところはやっぱり同じように減ってきているということではないのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 暫時休憩でよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時34分 休憩

10時35分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 全体的には減っています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 344ページの文化財保護費の2番の委託費です。世界遺産の須山浅間神社の境内の管理清掃委託ということありますけれども、事業に対して補助金でなくて、市から清掃の委託をしているというの、この委託の範囲等はどういうようなことなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 文化財の範囲内の清掃をお願いしています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時36分 休憩

10時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 実態の清掃業務を行っている内容からすると、委託費をもっと

増額してほしいという地元の声が多いですけれども、そのような声は届いているのでしょうか、あるいはこれからどうされるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらのほうにそういった声は届いてはおりません。基本的に市の指定文化財といいましても、持ち主、所有者の方の管理が基本になりますので、現在のこの金額で継続してお願いをしたいと考えています。

（「休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時38分 休憩

10時38分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 336ページの償還金、県への財産処分ということでちょっと詳しく教えていただきたいのですけれども、ちょっと休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時38分 休憩

10時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 質問……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時40分 休憩

10時40分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 県の償還金の理由をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 県の算定基準に基づいて支払いをしております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 339ページのその他のわたしの主張裾野市大会に対してのロータリークラブからの図書券の寄附ということで、これはお金ではなくて図書券をということでよろしいのでしょうか、確認です。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 はい、そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） その上の2番のところなのですけれども、通学合宿事業ということで、中丸下子供会が元年度で、その前がおやじの会というのが30年度あるのですけれども、これ何か関連はあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時42分 休憩

10時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 どちらも実施をしておりますが、おやじの会のほうは補助金の申請がなかったというところです。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうしますと、中丸下子供会は30年度初めてということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時43分 休憩

10時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 はい、そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） お願いします。340ページの家庭教育支援員のこの事業に対してですけれども、これ対象とする方というか、どういう保護者の方、すみません。ちょっと。対象となっている方というのはどのような学年なり、幼児なりという。参加している方。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 参加している方はお子さんを持っている親の方になります。親を対象にしているところです。

（「ちょっと休憩ですみません」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時44分 休憩

10時44分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 親、祖父母等お子さんに関わる方たちが全て対象になります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 345ページなのですけれども、岩波の風穴の補償費、踏み荒らし料ということで10万円かかるのですけれども、この辺土地を購入するとか、今後何か考えていること等はありますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 購入する予定はありません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） この岩波風穴を利用する方というのは、毎年元年度でもいいのですけれども、どの程度の人数が利用している、捉えていますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 人数は捉えておりません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） この辺補償料を払うという理由は。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 岩波風穴が民地の真ん中にありますので、道路から岩波風穴まで入るのにここを通らないと岩波風穴に入れないという形態になっておりますので、その通る部分について補償させていただいています。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） すみません。353ページ、運動スポーツ習慣化促進事業ということで、昨年度行われています。12回行われているのですけれども、この事業をやったことに関して効果というのはどんなものがあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 この事業によって、参加した方たちはこの後継続して運動を習慣化というところで続けているというところの効果は出ていると思います。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） これは単年度の事業でしたか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 はい、そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 運動週間をつけていくということでは同じような事業でなくても何か続けたほうがいいのではないかというものは去年話し合われましたか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

- 生涯学習課長 この中で第1部の3番、認知動作型マシンであるとか、第2部の自由教室、こういったところは指定管理で継続的にやっていただいています。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 340ページなのですが、家庭教育事業、昨年までは講座として開催されていた、事業名は講座だったと思うのですけれども、昨年度教育支援ということで内容的に変わったことは。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時48分 休憩

10時49分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
生涯学習課長。
- 生涯学習課長 内容的には変わっておりませんが、講座だけではなくて、相談等も行っていますので、こういった形で書かせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） たしか女性活躍推進のための補助金の表があったと思うのですけれども、調書の340ページの上の表です。元年度は補助金がゼロということになっていましたけれども、元年度の女性活躍を推進するために何か行ったことというのはなかったということですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらの女性活躍推進事業は、補助金から委託料に科目を変えております。現在は委託料として事業を行っていただいています。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、元年度委託によって行われた効果というのはどのように検証はされたのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらは、婦人会の方々が一般の市民の方々に向けて6テーマの講座を開催していただいています。こういったことでいろいろなテーマで参加する、婦人会に興味を持ってもらう、テーマについての興味のある方が参加できる、広く参加を促せたと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） その中から結果として婦人会さんのほうに実質的に参加をされた方っていらっしゃるのですか。元年度取り組んだことによって、結果としてそういった実際に婦人会の会員さんになられたとかって、そういう方はいらっしゃったのですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

- 生涯学習課長 すみません。そこまでは把握しておりません。
- 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 344ページの1番の視察研修ですけれども、駿府城跡に行かれたということで、ここで行った目的というか、参考になったこととかありますか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらは、文化財保護審議委員さんの視察になりますが、他の文化財を見る、情報発信の仕方を見る、展示の仕方を見る等で裾野市のやり方等の意見になるかと思えます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 348ページなのですけれども、1番の富士山資料館講座と2番の企画展展示等、この辺参加人数ですか、増えているかと思うのですけれども、何か工夫したこととか、要因になったこととか考えられることありますか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 こちらのほうは、PRといいますか、情報発信に力を入れさせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 何かイベント等で工夫したとか、そういうことはほかには、情報発信以外にはないですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 特別展等は年によって内容を変えておりますので、その辺りで魅力があるものを毎年考えています。
- 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） まず、343ページ、一番下、総合計画の達成目標、元年度よくはなっているものの目標に対してかなりの開きがあるかと感じます。この辺のところをどのように達成をしようという元年度お考えだったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 教養講座等の数を増やすなどして魅力ある講座を増やしたいというところだったのですが、なかなかそこまで満足度の向上にはつながらなかったもので、今後も指定管理の方々と連携しながら満足度の向上に努めていきたいと思えます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 当初の目標値36%という感じ、残り1年ってなるとなかなかもう数字的には達成が難しいかなという状況かと思われま。とは行かないまでもどれぐらいまではいきたいというようなところってあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時55分 休憩

10時55分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 数字の目標は設定しておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今指定管理とお話しされているというお話なので、目標やはり設定をできるならやっていただいで進めていただきたいなと思います。

347ページ、富士山資料館ですけれども、入館状況、こちらがやはりちょっと毎年入場者が減っているような状況で、29年度後がやはりちょっとピークだと思っています。元年度は後半ちょっとコロナの関係もあったかもしれませんが、こちら入場者をやっぱり向上させようというところで元年度はどのような活動といえますか、どのような状況だったのででしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 企画展、特別展等をそういったものでご案内を差し上げたりしていたわけですが、やはりコロナの影響がありまして、外国人の方の団体さんの入場というのが大分減りました。あとは、世界遺産センターができたことによって、そちらに流れている部分も大きいかと思っています。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 350ページお願いします。文化センターです。トイレの洋式化工事が元年度で完了したと思いますけれども、今コロナでなかなか入場者少ないと思いますけれども、何か評判というか、好評なのか、あるいは不評なのか、洋式化後は。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 洋式化については皆さんに好評をいただいているところです。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） スペースの問題と、それから事業費のことからして、既存のスペースの中で洋式化をしたという特殊なケースですけれども、ドアの開閉等を含めて、それも特に何か苦情のようなものはございませんか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 特にそういった苦情はございません。逆に扉の開け閉めは軽くなっていると思いますので、そちらは好評をいただいていると思います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） トイレは終わりましたけれども、文化センターとして次に向け

ての何か改修をしなければならないというところはまだ多くあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 この後照明の工事、あとは天井の落下防止の工事を予定しております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） すみません。お願いします。行財政構造改革の取組元年度の中で生涯学習課のほうで見直し事業が30近くあったかと思えます。その中で市民の方から多く声をいただいた事業というものはありますか。変更によっていただいた声です。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時59分 休憩

10時59分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 特に特定のものに対してはございません。

○委員長（杉山茂規） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） その点に関して調書の31ページの t o y o u の発行の部数のほうが大きく減っているかと思いますが、これに関して市民の方からご意見というものも特にはないです。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 生涯学習課のほうにはございません。

○委員長（杉山茂規） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） では、こちらの効果への影響に対して、生涯学習課のほうで何か協議されたことはありますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちら全戸配布から回覧に変わりました。ホームページ等でもデータをアップしておりますので、そういったところで皆さんにご紹介をさせていただいています。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 357ページになるかと思えます。年度末に体育館の窓ガラスが割れて、ガラスが飛散したものがありませんでしたが、あれはどんな判断の

下1枚のみの修繕だったでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらのほうで修繕をとりあえずさせていただいて、その部分に関しては割られた方に補償を求めていくようになります。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 飛散防止フィルムが貼られていたにもかかわらず飛散が相当あって、しばらく周辺もバリケードがされましたけれども、飛散防止フィルムの在り方についてはどんな改善がなされたでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 暫時休憩でいいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時02分 休憩

11時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 今回のボールがぶつかった件は、通常であればあり得ない状況なので、そのところは飛散防止フィルムが通常であれば割れないと考えています。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 飛散防止フィルムが空気が入ってほとんど飛散防止の役をしていないのですけれども、そこら辺は特に課題とはなっておりませんか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 今のところ課題にはなっておりません。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 指定管理事業者の変更で、最終的に変わってしまいましたけれども、最後このシンコウさんから施設管理の不備などのリストなどはもらったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時04分 休憩

11時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

生涯学習課長。

○生涯学習課長 引継ぎのリストはございます。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） お願いします。337ページです。生涯学習センターの屋上に屋上緑化の試験施工があると思いますが……暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時04分 休憩

11時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 屋上緑化の施工に関わる雑入がどこに載っていますか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 屋上緑化の水道料につきましては、指定管理者に直接払われています。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 了解しました。

この屋上の使用に関して、公有財産管理規則に基づいた貸付けなのか、目的外使用なのかちょっと分かりませんが、それに関する手続等どのようになっているかを確認します。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時05分 休憩

11時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
生涯学習課長。

○生涯学習課長 こちらは試験期間というふうに伺っていますので、特に手続は取っておりません。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 公有財産を貸付け、または目的外使用させるときには主管の部長の決裁を経て手続されているはずなのですが、どのようになっていますか。要はその施設の主管部署ですね。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 部長の決裁は受けておりますが、目的外使用を今現在は出しておりません。

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） 部長の決裁を出すということが公有財産の管理規則にのっとる手続上の話だと思うのですが、それがなされていないということでもよろしかったですか。

○委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。

○生涯学習課長 決裁は取っております。

- 委員長（杉山茂規） 井出委員。
- 分科会外委員（井出 悟） ごめんなさい。よく分からないので、もう一回。公有財産を貸し付ける際に貸付けなのか、目的外使用をするのか、どちらかでもいいのですけれども、公有財産の管理規則にのっとった手続がされているはずではないですかという確認です。
- 委員長（杉山茂規） 教育部長。
- 教育部長 昨年の私ではなかったのですが、前部長の段階で貸付けについての許可については決裁取っております。緑花組合のほうからも行政財産の使用許可という願いが出ておりますので、それについての許可書を出しているというのが現状でございます。あと、屋上緑化につきましては、地方創生の交付金対象事業になっておりまして、市としても全面的にバックアップをするというような形で事業を進めておるところでございますので、そういった面も含めまして、部長決裁で使用許可申請をいただいて許可を出しているというふうにご理解をいただきたいというふうに思います。
- 以上でございます。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
- 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） すみません。338ページでございます。青少年の教育事業費として、ボーイスカウト3団、4団、そしてガールスカウトに補助金が出されております。活動内容を見ますと、4団が隊員さんが2名、ガールスカウトも隊員さん2名で、集会活動と野外活動と記載されています。集会活動は分かるのですが、その野外活動というその活動内容を分かりますでしょうか。もし分かったら教えてください。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 ボーイスカウトのほうはキャンプであるとか、異学年交流、そういった体験型の活動をしております。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） 3団の隊員12名なら分かるのですが、あとガールスカウトと4団の2名というのが何かということでお聞きをいたしました。そして、4団とガールが隊員が大変少ないのですが、これに対する対応というのはもうその団体にお任せなのか、御課が関わっているのか、そこを教えてください。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 団体にお任せしている部分はありますが、今回の t o y o u が11月で発行されますが、その中でも支援ということで募集の情報を載せさせていただいています。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） ありがとうございます。そうすると、3団と4団の

統合等というようなものはリーダーと話し合いとか、そういうのはしていますか。

- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 統合の話は特にしておりません。
- 委員長（杉山茂規） 二ノ宮委員。
- 分科会外委員（二ノ宮善明） 暫時休憩してください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時10分 休憩

11時11分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 調書352ページ、その9番の地区小運動場ですけれども、中里区の整備費、これは何だったか分かりますか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 防球ネットになります。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） そういう整備費について、借地料はあちこち出しています、整備費はそういう申請の都度審査をして出すか出さないか決めるというやり方ですか。
- 委員長（杉山茂規） 生涯学習課長。
- 生涯学習課長 はい、そのとおりです。
- 委員長（杉山茂規） 教育部長。
- 教育部長 先ほど井出委員からの薄層緑化の関係なのでございますけれども、当初薄層緑化の試験施工という実証実験というところで実際には行政財産を管理する総務課、現在は行政課のほうに許可申請が上がっております。その許可申請の中で使用料等についての条項が定められておまして、それを受けて所管する教育部のほうが実際の教育活動に支障がないということを確認した上で二次的に許可申請書を出しているというようになっております。
以上でございます。
- 委員長（杉山茂規） 質疑等は。
井出委員。
- 分科会外委員（井出 悟） 分かりました。ということは、減免していらっしゃるもので、減免の前提となっている額はお幾らになっていきますか。
- 委員長（杉山茂規） 教育部長。
- 教育部長 特に規定ございませんので、減免をする時点でなしというような判断でございませぬ。
- 委員長（杉山茂規） よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で、認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で生涯学習課の質疑を終わります。

暫時休憩します。

11時14分 休憩

11時17分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。
浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願いたします。まず、327ページ、右下、いじめ問題対策連絡協議会の開催情報ということで2回元年度やっていただきましたが、協議会の内容はどうだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 いじめ問題対策連絡協議会につきましては、ちょっと暫時休憩お願いたします。すみません。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時29分 休憩

11時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
学校教育課長。

○学校教育課長 2回開催したのですけれども、1回目につきましては、市内のいじめの実態についての確認と、それから前年度にいじめの認知の仕方についてちょっと混乱がありましたので、その是正状況について説明をいたしました。また、道徳の教科書等におけるいじめの問題の扱い方についての確認等をいたしました。2回目につきましては、年度の市のいじめの状況の把握等と、それから実際に起こった事例等を検討しながらどのような課題があるかということ洗い出しました。
以上です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） すみません。334ページの5のところ、一番下いじめの件数載っております。認知の見直したという、この数字が減っているのですけれども、この数字が表している協議をしたということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 2回目のところ、事例の検討ということで、代表でいいです、具体的にどういうことをやられたかと。あったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 実際に起こったいじめを、実名等は上げないのですけれども、その子供たちの関わりだけではなくて、家庭の捉え方とか、それに対する教員の対応の

仕方とかで、把握がちょっと遅れてしまったような事例等を取り上げながらどのように対応したらいいかというようなことを検討しました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 元年度は数字的にも見直しましたがけれども、実際的に減った傾向という形でよろしいのでしょうか。いじめそのものが。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 全体の数としては確かに1つは前年度の認知の仕方が最終的には精査ができずに残ってしまったところもあったものですから、一人のいじめに対する1件というふうな把握が十分できていなくてその分が令和元年度はきちんとしたことによって、それによって下がった部分というのは確かにありますが、それに加えて学校生活としては比較的落ち着いた生活が見られているのではないかなというふうに思っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。今ちょうどいじめ的にもいろんな中身も精査していただいているということなので、継続してお願いいたします。

次行きます。329ページ、委員長、これ暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時32分 休憩

11時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） では、その件分かりました。

331ページ行きます。小学校講師が元年度1名減りましたよということでした。総数では変わらないということでしたけれども、小学校としては講師が1名減ってやはり影響があったかなと予想するのですが、その辺はどうだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 その年1名減らした学校については、単学級の学校で、ほかの学校に比べて手厚く講師を配置しておりました。それはそれまで生徒指導の問題等が多く見られたということがあったのですが、学校生活も非常に落ち着いてきて、経年の様子を見てももうそこまでの配置は必要ないのではないかとということで他の単学級の学校と同じ数にそろえて、その部分を1名を減らしたということなものですから、それほど大きな影響はありませんでした。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件分かりました。

その横の学びの森のところでお伺いします。学びの森が恐らく平成27年度からということで5年を迎えているかと思っておりますけれども、その辺の5年たった成

果って元年度何か話ってあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 元年度だけの成果というわけではないのですが、年々若手教員の配置数というのは一定数多く入ってきておりまして、現在20代、30代の教員が非常に多くいます。そういう中で2年目から5年目までの公の初任者研修はあるのですが、それが終わった後の教員の研修を支えていくものとしての意義づけは非常に大きなものがあるというふうに確認しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これ、去年もちょっと質疑させていただいたかもしれませんが、今先ほど2年から5年という教員の方が中心となりました。一方、異動されるというのもそのときって多いと思うのですけれども、その辺の対応というのはどういう形でやられていっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 採用してからの年数で行っていますので、市内に在籍していればそのまま継続してやはり学びの森の対象者になりますし、ただ市外異動になってしまっ、市外に行ってしまうと対象からは外れてしまいます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その逆で市外から入ってくるとどういう扱いになるのですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 市外から入ってきた先生については対象者になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） もう一点だけ。これほか市、町とのこういう教育カリキュラム的というのはレベルって同じなのでしょうか。ほか市、町も同じように市でやっている学びの森というようなことってやられているということによろしかったでしょう。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 市、町ごとに違っておりますが、アドバイザーのような形で巡回しているところが中心かなということと、あと今配置していない市、町についてもこのような形でアドバイザーを置く動きになっています。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

浅田委員。

○委員（浅田基行） これは今後も継続していく事業ということの考えでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 そのように考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件分かりました。

332ページのところで、2番、教職員の教育研究会の元年度3つほど廃止しましたと、ほぼ何か事業が旅費とか文具系ということで、あまり意味をなさないような説明だったように感じましたけれども、この辺の廃止理由というのはもう一度お願いいたします。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 今委員がおっしゃったように1つはその事業を行うための旅費を、ここに出席してもらうための旅費に充てていたものがあつたこと、それから新規採用職員の交付金事業につきましては、その新規採用教職員の研修会で使う文房具であるとか、あるいは1年間のまとめに初心という冊子を作って1年間の振り返りの成果をまとめているのですが、その冊子を作るための印刷代金に充てていたというふうなことがあります、それを改善して廃止したというふうな経緯でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。研修そのもの、人材育成という事業としてはやられているということですのでいいですね。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 次のページ、333ページですけれども、部活動の推進交付事業、元年度金額そのものは決算的には変わりませんが、人数的に変更とかあつたのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時39分 休憩

11時39分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

学校教育課長。

○学校教育課長 こちらにつきましては各学校からの要望等に応じて外部指導者の委嘱を行っているのですが、特に大きな変動はありませんでした。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 昨年で行くと、30年度、27名という認識でいますけれども、変更ないということですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 同じく27名を委嘱しています。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 334ページ、6番、不登校の状況ということで、これは重点課題というご説明もありましたけれども、残念な結果で増えてきている状況と。全国的

に増えているというようなご説明もありましたけれども、ちょっと重点課題という取り組んでいる中で、やはり増えてしまった理由というのは何かあるのかと思うのですが、その辺のご説明をお願いいたします。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 1つは、不登校が低年齢化しているという傾向がありまして、なかなかそこら辺のところの初期対応が十分でなかったということがあるかなというふうに思います。また、理由が様々な要因がありまして、それが多岐にわたっておりまして、その対応について適切な対応が十分得られていないというふうな現状があるかと思っています。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 初期対応であるとか、様々などという今の答弁というのは、令和2年度のところで今ちょうど重点課題として取り組んでいるということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 今おっしゃったとおり、初期対応、それから組織的な対応に力を入れております。

（「分かりました。よろしくをお願いいたします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 330ページの学校災害の減なのですが、30年度と元年度、大体同じような発生件数なのですが、給付件数のほうが若干増えているかなということで、どのような災害の内容なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 一概には言えませんが、主に体育の時間のけがであるとか、部活動中のけがであるとか、そのようなものが中心になります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうしますと、この数字的なことを見ると、単独で事故してしまったのと、複数でぶつかったりとかして、2人で、そういうケースが増えたというような形なのですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 給付件数につきましては、月をまたぐと1件新たに数え直しをするものですから、その分数が増えるというふうになっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そうすると、特に例年と変わった内容はないという判断でよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 発生件数で見ただけであれば大体その年の事故の数というふうにな

りますので、それほど大きな違いはないというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 次のページの学びの森なのですけれども、大体受講する人数と
か分かりますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 ちょっと細かくなってしまうのですが、2年目の教諭は小学校が6
名、中学校が6名で計12名、それから経験3年目の教員は小学校が7名、中学校が
6名で計13名、4年目から5年目は13名の教員でした。また、市の講師については、
小学校が4名、中学校が4名、それから市の支援員は1名の支援員に対して行いま
した。また、県の講師につきましては13名が対象者になっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） ちょっと暫時休憩でお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時44分 休憩

11時45分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） このページにはないのですけれども、全国の小中学校の学力調
査の結果、前に報告ありましたけれども、小中学校どういう総じて結果でしたっけ
か。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 全体的には小学校がやや平均に届かないところぐらい、中学校はや
や上回るというぐらいの、ちょっと乱暴な言い方、全体を通した乱暴な言い方にな
りますけれども、そのような結果になっています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 小学校の数、中学校の数がそれぞれありますから、それを基に
して結果として、特にここの学校は連続して学力が低いのだとか、あるいは高いの
だとかというような、そういう傾向というのはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 毎年受けるのが小学校6年生ということで、対象者は変わっていく
ものですから、若干その年によって増減というか、上がり下がりはあるんですけども、
総じてなかなか届いていかない学校については校内研修のテーマを
そこに絞って焦点化して取り組んでもらうようなことをしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） この調査が始まった当初は、その結果を公表というか、あるい

は保護者に分かるようにというような声が結構多かったのですけれども、実際にはそれ分からない話、今も公表されていないのですけれども、実際に学力の差が生じている結果があると思うのですけれども、それに対して全体的にどのような基本的な取組をされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 1つは、国語に関していいますと、国語があまり好きでないというふうな結果が多く出ておりました、その辺の国語の取組については各校とも中心の研修のテーマにしている学校が多くありまして、その辺りを国語を、非常に丁寧にやってはいるのですけれども、必ずしもそれが成果に結びついていないという辺りがなぜなのかって辺りを中心に各学校で研修を深めてもらっています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 次ですけれども、328ページが一番下段に心身障害の児童生徒の支援関係ありますけれども、先ほどの課長の説明の冒頭の中で、被支援者というか、支援を要する児童生徒数が増加傾向にあるというのですけれども、これはいわゆる心身障害の子供たちの数が増えているということなののでしょうか、それとも数が増えていることでなくて、実際に支援をすべきだという実態が増えているということなののでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時48分 休憩

11時49分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 絶対数が増えているということになります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 330ページに健康診断の結果があります。それぞれの年度にて多少の違いはあるのでしょうかけれども、元年度の結果として総じて児童生徒の中の診断結果として、よくないほうの主な内容というのはどういうことなののでしょうか。

（「ちょっと暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時50分 休憩

11時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

○学校教育課長 これは、対象の学年が毎年定まっています、対象学年が変わって

いくものですから、一概には言えないのですけれども、気になるところとしては生活習慣病のお子さんがそこに関わる指導に、対象になるお子さんが増えているところが現在気になっているところでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 具体的に言うと生活習慣病、中身としてはいろいろ当然ある話ですけれども、まとめて生活習慣病なのですからけれども、具体の個別のものというのはお分かりなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 今ちょっと具体的な細かい数字までは持っていないのですが、肥満傾向であるとか、あるいは食生活に関連するものから起こるその辺の血液検査の数値であるとか、その辺りが増えているのかなというふうに思っています。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 331ページの6番の事業の10の2のところの学校支援地域本部事業委託活動ということで、スクールコーディネーターのことが書かれていますけれども、現在何名いらっしゃるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 現在15名のスクールコーディネーターがおります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） そこにおのおのニーズに応じた人材の発掘、協力依頼、調整等を行いという書かれていますけれども、現在募集しているというふうな解釈でよろしいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 公に募集しているわけではないのですが、スクールコーディネーターの負担が大きくなってくるともありませんして、複数の配置を考えたりとか、そのような形でなるべく人が入れ替わっても継続できるような形を考えてはおります。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） すみません。調書の328ページ、先ほども委員からの質疑がありましたけれども、一番下の心身障害児童生徒の就学支援等に、就学相談の実施というところで随時行われているということなのですからけれども、具体的には体制で行われているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 一番多いのは、特別支援教育の巡回相談員による保護者との面談というのが一番多いものになっております。数としては令和元年度は693回延べとしては行われております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

- 委員（三富美代子） すみません。その巡回相談員さんのほうに相談を受けたいという、そういう希望を出されるのはやはり保護者の方が相談したいというところで連絡を取られてくるという、そういうことなのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 様々なケースがあると思うのですけれども、お子さんの表れとしていろいろ不適應であったりとか、困り感を感じた保護者の方が学級担任等に連絡する中で、では、巡回相談員さんがいますから一緒に相談しましょうかというふうに働きかけるケースも多くありますし、その話を聞いた保護者の方から直接相談をしたいというふうな声がかかることもあります。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしますと、この相談件数も増加傾向にあるというふうに考えられるのですけれども、実際は傾向的にはどうなのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 そのとおりで、693回というのは過去4年間の中でも最高の数になっています。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 対応されていらっしゃる相談の指導員さん方の人数的に対応は十分できるような状況であるというふうに考えていいですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 令和元年度1人増やして3名で体制を整えてはいますが、なかなかその辺りについては話も深刻だったりとか、いろいろあるものですから、もちろんどこまでやれば体制が十分かというのは一概には言えないのですが、現在はこれで対応できているというふうには考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 334ページ、先ほどの不登校状況のところでお伺いしたいのですが、全く学校に来られない子供たち以外に普通に教室で授業が受けられないといういわゆる保健室登校の子供たちもいると思うのですけれども、その子供たちは増えているのかどうなのかというのはどうなのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 以前よく保健室登校と言われていた子たちも学校で別室をつくって、そこに例えば市の講師をそこに常時配置して、継続的にその子供たちを見ていけるような体制を取り、そこに学級担任や教科担任が空き時間を利用して関わるというふうな体制を整えつつあって、増減についてはちょっと今ここで把握していないものですから何とも言えませんが、そのような体制を取っているということで増えてはいるというふうには思っています。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それでは、増えているからそういう教室を一つつくってと
いうことの状況だということ分かりました。いいです。すみません。

（「ちょっと暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時57分 休憩

11時58分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 331ページの業務委託状況で確認します。一番上のALTの配置
委託でございます。金額約1,700万ぐらいの元年度だったのですが、このALTの指
導講師というのは何名分なののでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 4名です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 小中学校合わせて4名ですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その4名の方はどういった学校に回っているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 令和元年度は、お一人の方が東小と富二小、千福小、南小と小学校
4校回りました。そして、お一人の方は東中、富中、須山中と中学校3校、また別
な方は西小、向田小、東中と小学校2校と中学校1校、最後の方は深良小、富一小、
須山小、深良中と小学校3校、中学校1校となっています。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それらの講師の方々、頻度を含めて今十分な人数というお考え
でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 これも十分かと言われると十分ではないのではないかとは思いますが
けれども、ただ中学校のほうについては英語の教師が中心に進めることができます
し、小学校のほうについても英語の専科教員ということで英語の免許を持っている
方がお二人専科として入っておりまして、そういう方が進めていく中でALTを活用
して授業を行っているというふうな実態がありますので、少ない中でも上手に活
用してやっているというふうに認識しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。

では、一番下、学校支援の事業委託で、注意書きであります。いろいろしていただいているのですけれども、単純に数字から言って30年度より元年度件数多いのですけれども、かかわらず、元年度の決算が費用が落ちています。この元年度件数は多いのだけれども、費用が減っているという、この中身について内容お願いいたします。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 こちらは国と県と3分の1の補助を受けて行っている事業になりまして、金額がその部分が下がってしまったので、単純にその分が減額されているというふうなことでございます。また、この事業の実際に行われている1件1件に関しましては、全てボランティアで行われていますので、その1件に関して謝礼等が支払われているわけではございませんので、その件数とは関係がないということになります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今言うようにちょっと補助的に金額が落ちたとすると、件数が今増えているからいいのですが、何か元年度そういった理由で懸念というような話ってあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 特にそのようなことは聞いてはございません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） こちらも継続して、件数もそうですけれども、中身の濃いものにしていただきたいと思えます。

以上です。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） お願いします。331ページです。その他8番で新型コロナウイルス感染で臨時休業してありましたが、これを機に教育で関わっている検討会のようなものは市外も含めてどういったものが立ち上がったのでしょうか。

暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

12時02分 休憩

12時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校教育課長。

- 学校教育課長 他市、町との共同、共有ということに関しては、教育長会を8回ほど開きましたので、その中で情報共有はされてきたなというふうに思っております。また、市内としましては、令和元年度末、それから今年度の初めのところの教科の遅れということに関してそれぞれ小学校、中学校ともに教科主任者会を各教科ごとに開きまして、どのように今後対応するかということについて検討をする会を持ちました。
- 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。
小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 調書332ページの教職員の研修会等というのがありますが、これは県費の教員も市費の教員も同じ扱いですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 こちらにつきましては、上の段に書いてあるものについては全て県費の教職員でございます。下のところに市の講師支援研修会とありますので、そちらについては市の職員の研修が含まれておりますが、多くは県費の教職員になります。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） そうすると、いわゆる講師についてはあまりそういう教員としての研修を受けられないという、受けられないということはないのでしょうか、差があるという状況ですか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 先ほど説明したように学びの森を利用した研修会等があるのが1つと、それから市の講師、支援員に対する研修会をそこに書いてあるように持たせてもらっております。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） 一番嫌なことで、最近新聞にもよく出ていますが、教員の児童生徒に対するいわゆる性的なセクハラですね、があるので、そういうことに対する研修というのはどこかに入っていますか。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。
- 学校教育課長 教員の不祥事根絶の取組につきましては、年間の計画をつくって計画的に取り組んでおります。
- 委員長（杉山茂規） 小林委員。
- 分科会外委員（小林 俊） これで最後にします。数多い教員の中にはそういう態度には出さなくてもそういう性欲を持っている人って必ずいるので、そういう教育をしっかりとやってほしいなと思うのですが、それはそういう認識でいてくれるのでしょうか。そんなものはないのが当たり前だと思うのか、あるから何とかしなければいかんと思うのか、そこですけれども。
- 委員長（杉山茂規） 学校教育課長。

○学校教育課長 ないと信じて取り組んではいますけれども、ただしやはりいろんな状況や個人的なそういうふうなものまでは必ずしも全て把握できないということが実際にはあると思いますので、したがってやはりそれについてはあるかもしれないというふうな思いは持ちつつ、そういうことが起こらないようなことには力を入れております。

(「分かりました」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありますか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で学校教育課の質疑を終わります。

休憩いたします。

12時07分 休憩

教育総務課

- 委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。
暫時休憩します。

13時22分 休憩

13時22分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありませんか。
浅田委員。

- 委員（浅田基行） よろしくお願ひします。311ページお願ひします。11ページ、1番、放課後児童室の入室人数ということで、元年度より西小と深良小、南小という形で増えました。元年度の児童の入り、受入れに対して定員割、定員オーバーなど各学校の状況はどうだったのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

- 教育総務課長 定員割れの部分ですけれども、そこは毎年入室児童が変わってまいりますので、若干の空きが出るということです。待機児童については発生はしておりません。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。

- 委員（浅田基行） 定員数というのは各小学校の各部屋というのですか、で定員数というのはいま決まっているのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

- 教育総務課長 そのとおりです。

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。

- 委員（浅田基行） 定員数を記入というか、明示していただきたいのですけれども、暫時休憩願ひします。

- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時24分 休憩

13時25分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
浅田委員。

- 委員（浅田基行） 3月に休校に伴って児童室というところを急遽開けていただくとか、対処に非常にいろいろ想定外のこともあったかと思うのですけれども、そのときの状況ってどうだったのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

- 教育総務課長 3月に学校休業になったとき児童室は朝から開室をさせていただき

ました。その際に午前中については学校の講師、支援員の先生方に協力をいただきました。ただし、いきなり……暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時26分 休憩

13時27分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） その件分かりました。

ちょっとページを移します、313ページです。4番、総合教育会議の開催状況として、令和元年度2回ほど教育会議行いました。3番で協議会、学校訪問の状況ということで協議会を行いましたけれども、この協議会についてどのような協議会だったのかお願いいたします。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 この協議会ですけれども、定例の教育委員会で議題に上っている案について事前に教育委員さんに情報提供する場合と、ほかにはこの総合教育会議開催に当たりまして、事前に教育委員さんと資料等の確認をさせていただいたということでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。その協議会を終えて、教育委員会ではどのような、その協議会を受けてどのような成果といいますか、課題でもいいのですけれどもどういった教育委員会に展開されているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 その議題等の現状を把握した中で教育委員会の中で意見をいただけるといふふうに考えております。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時28分 休憩

13時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 了解しました。

では次、314ページお願いします。3番の委託料のところ、市民アンケートを元年度実施しまして、在り方検討委員会とかでも使われたかと思うのですけれども、結果を受けてどのように活用していくということを元年度では検討してされたのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 このアンケートの結果を受けまして、この在り方検討委員会で最終的の提言書という形でまとめさせていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 分かりました。まとめた結果でいうところのもう一つ前向きな意見というのはあったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 このアンケートの結果につきましては、ホームページでも公表させていただいております。教育のあり方の部分と、市民に対しての生涯学習とか文化財についてとか、そういったテーマでアンケートを実施しておりますので、前半の部分については昨年度いただいた提言書に、後半の市民の生涯学習の状況であるとかという部分は現在教育振興基本計画を策定中であります。そちらのほうに反映をさせていただいております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そちらのほうで生かしてということですね。了解しました。
では次、316ページで、設備備品購入状況というところでお伺いします。3番の設備の購入状況ですけれども、金額的には載っているのですが、各学校でこれしっかり使い切っているというような考えでよろしいのでしょうか。
暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時31分 休憩

13時32分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。
- 教育総務課長 学校が必要としている備品については購入ができていると思います。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） お願いします。311ページの3番、放課後児童室の委託料というところで、支援単位が4つ増えたということですがけれども、これは1の教室が4か所増えていますけれども、その部分をいった内容でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 6年生まで受入れを開始ということで、ちょっと暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時33分 休憩

13時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。

○委員（勝又 豊） 6年生まで受入れを元年度から開始したということで、教室の状況等はどうなっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 特に学年で分けているということはありませんが、低学年についてはなるべく集まった形で受入れをしております。

暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時34分 休憩

13時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。

○委員（勝又 豊） 312ページの備品購入の中で、スポットエアコンが購入されていますけれども、これの使い道はどのようにしているのでしょうか。使用場所とか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 こちらは、借家のほうで暑さ対策として購入したものになります。
（「借家」の声あり）

○教育総務課長 児童室で借家をお借りしていますので、そちらのほうで利用しています。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 314ページの1のところの各種行事の中で、不登校への対応についてというの特色ある施策について等とありますけれども、特色ある施策ということとはどのような内容なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

暫時休憩します。

13時36分 休憩

13時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。

○教育総務課長 議題はここに記載のとおりですけれども、その内容については承知

をしております。すみません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 同じところなのですけれども、1月17日のICT活用フォーラムの中で、東京都三田に行かれていますようにも、この辺の内容というのもちょっと分からないですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 これは、ICT、端末を使った授業を見学させていただいております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 次のページの315ページで、執行率が50%になった要因はどのようなことでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 こちらにつきましては、深良小学校、富岡第一小の耐震大規模改修工事が国の補助事業に採択されました。それを次年度に繰り越しておりますので、執行率自体はこういった形で下がっているということです。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 314ページの一番下の委託料、先ほど委員からちょっと質疑出ましたけれども、このアンケートの業務委託は、委託の内容としてはアンケートそのものの中身というか、調査すべきことも業者のほうに委託をしたということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 このアンケートの内容については、検討委員会のほうで考えたものでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） そうすると、この業務委託は具体には委託の内容というのはどういうことなんでしょうか、実際に。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 アンケートの郵送料も入っております。回収したものの集計もやっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 分かりました。このアンケートそのものは独自に内容を決めたということなのですが、一番の主というか、主要点というか、何を一番の目玉にというふうに考えてやられたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 先ほど説明しましたように2つの部門に分かれています。1つは、

これからの裾野市の教育の在り方ということで、学校の校舎の老朽化であり、これからの学校の統合、再編、あるいはクラスの編成、そういったものについての意見を聞いております。もう一方は、市民の皆さんが生涯学習にどれほど関わっているか、あるいは市内の文化財についてどれほど承知をしているかと、そういったものを調査しております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~ちょっと全体的なことですけれども、元年度は議会に対して特に教育総務課からの協議会の開催だとか、いろんな説明する機会が多かったというふうに思っています。大きい幾つかの仕事があったというふうに思っているのですけれども、今元年度振り返ってみて、非常に大きい仕事も含めまして、すごく激務だったと思うのですけれども、仕事の内容としてはどうということが一番大変だったでしょうか。~~

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 仕事の内容というか、仕事の量に対して職員の数がちょっと不足していた、休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時41分 休憩

13時42分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先ほどの質疑は取り消します。

全体の職員の時間外の時間数が多いというのが教育総務課だというふうに頭の中にはあるのですけれども、そういうことからして、もっと職員の数が多かったならば元年度においては事業の進捗はもっと早くいったというような何かそんな感想ってありますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時42分 休憩

13時43分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。

○教育総務課長 職員の数が増えたとして仕事のほうが早く仕事が回るということはなかったと思っています。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

- 委員（土屋秀明） 私は、感じですけども、職員の絶対数が足りない、元年度の経験を基にしながら次年度に向けて職員数を増やすようにというような要望というか、調査、ものに対しての回答はされているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育部長。
- 教育部長 実際のヒアリングはこれからになります。
以上です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） なら、ちょっと言い方変えます。昨年度から本年度にかけて職員数が大きく増えたとは私は感じてはいないのでですけども、これからの中にもっと増員をしたいという考え方はあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育部長。
- 教育部長 そのような方向性で考えております。希望はしたいと思っております。
以上です。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 314ページの1番の研修等のことなのですけども、10月24日に行われた庶務担当課長及び、この会議の中でコミュニティスクールについて会議が行われたということなのですけども、この辺の内容、どのような会議だったかということは分かりますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 各市でのコミュニティスクールについての対応、方針等の意見交換をしております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） その会議の中で裾野市に合ったやり方等いろんな参考になるような内容というのはあったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 この会議での資料等につきましては、裾野市の場合、コミュニティスクール、学校教育課が主で進めておりますので、そういったところに情報提供をしております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 313ページから伺います。1の定例会及び臨時会の開催状況というところなのですけども、それとその2なのですけども、付議議案の中でその他とされる議案がかなり増えているのですが、その中身というのはどんな内容になっているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 準要保護の認定等、そういった内容になります。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） それは、これからだんだん増えていくのではなくて、令和元年度だけが多かったということになりますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時47分 休憩

13時47分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 教育部、ほかの課で要綱改正等が多かったということがございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） すみません。315ページの2、修繕、改修の工事の中で千福が丘小の多目的ホール、トップライトシーリング打ち抜き工事ってありますけれども、どのような内容なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 多目的ホールのライトの周りの……

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時48分 休憩

13時49分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 後ほど回答させてください。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） ちょっと確認させてください。316ページの4番、コンピューターの整備事業で……

○委員長（杉山茂規） マイクを近くへお願いします。

○委員（浅田基行） 東と向田小は、たしか元年度タブレットを導入したかと思うのですが、その状況、導入してどういう使われ方をしているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 今現在はパソコン室での使用となっています。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 何台導入したのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 40台前後なのですけれども、正確な数字把握しておりません。すみません。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） ~~PC室で入りますよと、授業の1環だと思っておりますけれども、授業内容は何かタブレットに新しくして変わったよという授業というのはあったのでしょうか。~~
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 すみません。授業についてはちょっと教育総務の把握できておりません。

（「ごめん。答えられないよね」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
 - 委員（浅田基行） すみません。今の質疑取り消します。分かりました。台数も後で聞きに行きます、いいです。
 - 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 委員の質疑を終わります。分科会外委員の質疑をお受けいたします。井出委員。
 - 分科会外委員（井出 悟） お願いします。311ページ、放課後児童室の件です。先ほど学校教育課のほうでもありましたけれども、通級指導等支援を必要とする児童が増えているのですけれども、それらの児童数の対応ってどのようになさっているのでしょうか。
 - 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
 - 教育総務課長 児童室につきましては、例えばそういう支援が必要な子について1人支援員をその子につけますということはなかなか難しい状況があります。そういったことも踏まえた中で保護者と協議をした上で受入れをしている現状です。以上です。
 - 委員長（杉山茂規） 井出委員。
 - 分科会外委員（井出 悟） 学校教育の中で支援員等の支援をする中で、いろいろ情報共有等が図れていると思うのですけれども、学校教育の中では、そういう部分に対して放課後児童室との情報共有というのはどのような形でされているのですか。
 - 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
 - 教育総務課長 特に問題がある児童については学校に情報を求める場合もありますが、多くの場合は特に学校からそういった部分の連携といいますか、そういったものは取ってはいません。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で教育総務課の質疑を終わります。

暫時休憩します。

13時54分 休憩

教育総務課（答弁漏れ）

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長より答弁漏れの発言の申出がありましたので、これを許します。

教育総務課長。

○教育総務課長 千福が丘小学校多目的ホールのトップライトの修繕ですけれども、天窓の周りから雨漏りが発生しまして、これを修繕したものでございます。

○委員長（杉山茂規） 委員の皆様、よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で質疑を終わります。

暫時休憩します。

14時18分 休憩

13時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

学校給食センター

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） お願いします。給食の回数は3月が学校が休校になりまして、回数が減ったと、金額のほうも見直すというか、減額になったのですけれども、急遽な出来事で、給食を賄いの材料というのって余ったというようなことってなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時02分 休憩

14時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 特に廃棄をしたということはありませんでした。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時02分 休憩

14時03分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 321ページの3の研修のところ、給食員の研修がありますけれども、参加率というか、これ全員参加なののでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 基本的に全員参加です。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 参加率100%ということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 その日に休暇を取っていなければ全員参加しております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 323ページに食物アレルギーの方が68名いらっしゃるということで、この辺の誤配膳とかそのような対策等はどのようなこと取っているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課課長代理。

○教育総務課課長代理 アレルギーの給食につきましては、個人名を表記して間違いないように教室まで配膳するようにしております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 配膳前の調理の段階での注意等はどのようにされていますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課課長代理。

○教育総務課課長代理 調理のときも同じように個人ごとに除去する内容を複数人数で確認して調理をしております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 暫時休憩で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時05分 休憩

14時06分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。

○委員（勝又 豊） 分かりました。

326ページの残食量の調査の実施ということで実施されていますけれども、結果はどのような状態だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時07分 休憩

14時08分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課課長代理。

○教育総務課課長代理 残食量ですけれども、令和元年度は小学校給食で1%くらいの残食がありました。センター給食では2%程度の残食がありました。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 323ページの11番、アレルギーですけれども、先ほどちょっと質疑出ていますけれども、アレルギーが非常にひどくて、給食からの提供でなくて、自宅から持ってきているというような子供というのはいるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

- 教育総務課長 弁当を持参するお子さんはいらっしゃいます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 把握していたら何人ぐらいいるのですか。小中学校。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時09分 休憩

14時10分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
教育総務課長。
- 教育総務課長 完全にお弁当を持ってきていただいている方が2名、一部弁当対応していただいている方が34名いらっしゃいます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 一部というのは主食はあれですけれども、いわゆるおかずを持ってくるということですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課課長代理。
- 教育総務課課長代理 そのとおりです。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 給食センターの事故が契機というのは変な話ですけれども、年度が変わって今給食調理の民営化に動いてきているのですけれども、昨年教育委員会も含めて、民営化に進めようという検討をしてきたのはこれ記載がありますけれども、それより以前から老朽化のために含めて移転だとか、あるいは給食そのものを民営化にしようというような議論というのは部内ではされていたのですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 部内ではしておりました。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 近隣で民営化しているという市、町は多いのですけれども、民営化をすることによって、直営でなくて何か少しデリケートのようなものあるというようなのは中での議論でもあったのですか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 デメリットとしては、委託費、費用がかかるというところはありました。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょう。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） すみません。322ページ……
- 委員長（杉山茂規） マイクをお願いします。
- 副委員長（岩井良枝） 322と325のところで、学校給食の調理器点検というのが令和元年度行われましたが、それ以前にはこういう調理器の点検というのはどのよう

に行っていたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 特に予算を取って専門業者に点検をしていただくという作業はここ数年やっておりませんでした。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） ここ数年やっていなかったということは一応定期的には何らかの形で行ってきたということによろしいのですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 以前は予算をつけて業者のほうに点検をしていただいております。

暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時13分 休憩

14時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 以前は毎年そういう形で必要なものについては、専門の方に調査を委託をしていたということですか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） そうしますと、令和元年の中でこれを毎年またやっていったほうがいいのかというような議論にはなっていますか。

○委員長（杉山茂規） 教育総務課長。

○教育総務課長 予算の中で対応できればと考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 調査をしてもらった中で、もう修理ではなくて、入替えをしたほうがいいのかというふうな指摘を受けた中身というのはありますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時14分 休憩

14時14分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

教育総務課長。

○教育総務課長 深良小学校のスライサーを入れ替えさせていただいております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

三富委員。

- 委員（三富美代子） 調書の321ページの2番なのですけれども、検査の実施のところで、一番下のところの調理場の監視指導、年1回で東部保健所の監視指導ということで記載がありますけれども、このときどんな点を、何か指摘されたような点があったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 施設の老朽化の部分については指摘がありました。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） それ指摘をされた事項に対して令和元年度その指摘事項を受けて何か協議といいますか、今後に向けての議論はされたでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 指摘事項が壁の剥がれであったり、床がちょっと凸凹していたりというような、そういったところがありましたので、全てではありませんけれども、対応をできるところはしております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 内容によっては予算が、金額がかかるものもあると思いますけれども、そういった内容については今後の検討課題ということですよ。
- 委員長（杉山茂規） 教育総務課長。
- 教育総務課長 そのように考えています。
- 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。
分科会外委員の質疑をお受けします。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の質疑を終わります。
以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で給食センターの質疑を終わります。
以上で教育部の質疑を終わります。
暫時休憩します。

14時17分 休憩

14時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康福祉部

社会福祉課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。181ページ、6番、DVの相談というところで、相談件数が元年度増えておりますが、この増えた理由というのはいかありましか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 件数は増えておる原因は、住居措置、市民課で行っています住民基本台帳の閲覧制限というようなのがあつたのですが、そちらの相談がほとんどでございまして。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 暫時休憩願ひます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時57分 休憩

14時58分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。うち一時保護件数が1件とありますけれども、この1件というのはいかいった内容なのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 個人情報に関係もありますので、詳しいことは申し上げられません。母子の方を県の一時保護施設に一時保護をしたものです。配偶者からの暴力等に逃げるためでございまして。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。保護の関係があるので、それ以上はいいです。

では、次行きます。すみません。183ページです。（1）で元年度利用者1名いらつちやつたということで、期間が14日間ということでしたけれども、これは何か理由というのですか、基準みたいなのがあつたのですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 すみません。暫時休憩願ひます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時00分 休憩

15時01分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 すみません……。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時01分 休憩

15時02分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 高齢者虐待がありまして、その保護のために利用したものでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そういった理由でですね。分かりました。
取りあえず以上です。
- 委員長（杉山茂規） ほかいかがでしょうか。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 185ページ、敬老会事業についてお伺いします。今年度は年齢を指定してという祝いの記念品となりました。令和元年度は式典ということで、前半後半と予定どおり行われたのですが、これ行財政構造改革の予定として、これは式典というのはいつまでやるかという検討って元年度ってあったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 令和元年度で式典は終了の予定でおります。
すみません。訂正いたします。令和2年度まで式典を行う予定でございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） それ以降で、これすみません。暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時04分 休憩

15時05分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
ほかいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 今の件ですけれども、今回の敬老会事業において、金額の削減というのはどのくらいになったのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 すみません。暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時05分 休憩

15時06分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 調べて後でお答えさせていただきます。申し訳ございません。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 同じページの（14）のところで、この内容をちょっと詳しく教えてもらいたいなと思いますけれども。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 高齢者が増加を続ける今日、安心安全で生活ができる地域づくりを実現するには行政及び地域社会が連携し、支援体制を整備することが必要となります。その中で日頃の事業活動の中で高齢者と接する機会の多い民間事業者と連携し、見守り体制を気づくことで、いち早く異変のある高齢者や支援を必要とされる高齢者を発見し、早期対応を図るために郵便局や新聞配達事業者、金融機関や保険会社と協定を締結しておりまして、その数が28事業所でございます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） この事業との締結の中で個人情報ほどの程度事業所側に伝えてあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 事業所からの通報によってうちのほうが動きますので、こちらから情報を出しているということはありません。
（「暫時休憩で」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時09分 休憩

15時09分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 180ページの社会福祉協議会への補助金で100万円削減されたということで、このことによって考えられる影響等はあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 100万円のものにつきましては、社会福祉協議会の独自財源で事業見直しを行い、対応しております。ふれあい給食がタイミングが一緒になりまして、

なくなりましたが、これについては事業対象者の増加や解除を要する人の増加、また事業実施をする日赤奉仕団や婦人会の高齢化及び人手不足により継続が困難であったということも聞いておりますが、直接的にこの減額が影響したわけではございません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） すみません。182ページのプレミアム付商品券、16番について低所得者の引換え者が少なかったという結果が出ましたけれども、これについての部内での協議等はありませんでしたでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時11分 休憩

15時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。

○社会福祉課長 こちらについて協議は行っておりません。この手続が対象となる要件を満たしているであろうという方に通知を送りまして、本人の申請の意思があった場合市役所のほうに送ってもらって、それをうちのほうで再度最新の情報で照合して、その後引換券を送るようになっております。ですので、ご本人様の意思でこのような数字になっております。

（「休憩でお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時12分 休憩

15時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 今のプレミアム付商品券の関連ですけれども、この表見る限りは対象者と申請者、あるいは引換券の送付者大きく変わってますけれども、これも簡単に言うと購入する資金に余裕がなかったという、そういうふうに考えられないですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 5セット50枚まで買えるようになっておりますが、先ほど申し上げましたけれども、何人の方が何セット買ったかというのは把握できませんので、ちょっと分かりかねるところでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ~~数字そのものはあれですけれども、基本的には国がこれを消費税の税率の改定を基にして少しでも低所得者とかあるいは子育て世帯に所得面で生活士の経済的な支援をしようとしている話ですから、普通ならこれだけ率がよければ購入するとは思いますが、購入しないというのは、これだけ高率なもので購入しようという意欲が湧かなかったという、そういうふうな考え方ではないのですか。~~

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
（「休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時15分 休憩

15時17分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
土屋委員。

○委員（土屋秀明） 先ほどの質疑取り下げます。

183ページの老人福祉費ですけれども、老人ホームの入所判定委員5人で、報酬ゼロということは具体の動きがなかったということなのでしょうけれども、ゼロというのは結果がその必要者が審議等する、あるいは入所させる人がいなかったということですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 非常に少ないですね、その下の表見ましても。かつてのこの入所措置の老人ホームと今はちょっと違うようなスタイルのものができていて、この制度そのものは今のところはずっと同様に継続していくという考え方なのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 このまま継続してまいります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 継続をしていくということなので、それは。先ほど言いましたように、高齢者福祉のいろんなもの、公的制度がぐんぐん変わってきている話ですから、当然こういうところもこれから先は変化していくというふうに考えられますけれども、今のところはそういうことで変化の兆しがないということですのでよろしいですね。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 養護老人ホームは経済的な環境的に措置をせざるを得ない方を措置をする形になりますので、セーフティーネットとしてあると思っておりますので、

そういう対象者がいた場合は引き続き入所措置を行いたいと思います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 189ページにシルバー人材センターの関係あります。このセンターの役員の方が過日、ちょっと前ですけれども、補助金の問題で、補助金の見直しが今されようとしているのだけれども、議会のほうでもちょっと後押しをしてくれないかなってことで訪問されたことがありますけれども、実際に約1割が元年度は減額していますけれども、この補助金はシルバーの運営事業費の補助金ですけれども、実際には何の事業に対してのあれでしょうか。要するに通常の事務費に対してですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 公益社団法人の認定に関する法律というのがありまして、そこに規定する公益目的事業に対して予算の範囲内で助成を行います。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） もちろんそういうことなのでしょうけれども、具体的に何の事業に対して何割でこの1,000万円なのか、あるいは全額を出しているのかというような。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 すみません。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時21分 休憩

15時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 高齢者の就労に対する補助が主になっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 最後にします。市がこの関連の、要するに通常の会計処理の中でシルバー人材センターを積極的に活用するよということとはセンターの最初、設置した初期のときはそういうことを非常に動きがあったのですが、現在は具体的にそちらはなるべく協力して仕事回すよということというのは社会福祉のほうからは何か主張されているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 できるだけシルバー人材センターを活用いただくような庁内では話をしております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 最後にするつもりですが、~~それで具体的にどのぐらいの事業が市のほうから委託をされてところ、数字というの把握されているのですか。~~

- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 把握はしておりません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 先ほどの質疑取り消します。終わります。
- 委員長（杉山茂規） ほかは。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 184ページなのですけれども、（6）で寝たきり老人に支給されている人数が56人いまして、それで（8）で美容院ですか、美容院に行く方が4人ということで、結構差があるのですけれども、この辺はPRが行き届いていないとか何か考えはありますか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 介護者手当の支給と、訪問美理容サービスの事業は記載のとおり目的といいますか、支給と目的が違いますので、このような数字になっております。例えば（6）のほうは介護4、5の介護者、在宅で3か月以上の方ですけれども、そちらの方がなりますし、（8）の理美容のほうについては、65歳以上の世帯の方で希望される方を負担するという形になっておりますので、それぞれの目的に応じてこの数字になっております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） そうしますと、（8）で対象者はもっと大勢いらっしゃるのではないかなと思うのですけれども、この辺で人数が30年度、元年と伸びていないことに対してはどのような見解でいますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 窓口の申請において、簡単な高齢者福祉サービスのチラシをお配りしていますが、このような利用者人数にとどまっておりますので、引き続き広報に努めたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） 同じページで（5）でお伺いします。緊急通報システムというのを行っているのですけれども、元年度は継続台数299台と、登録台数は266台となっているのですけれども、このシステムのそもそもの台数というのは何台ぐらいあるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 これはリースになるものですから、市で例えば何百台保管しているという形ではありません。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） では、必要に応じた台数分をリースするというやり方ということではよろしいですか。

- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 はい、そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 研究というところで民間サービスをできないかという研究するようなお話も聞いたことあるのですけれども、元年度はそういうような動きって合ったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 緊急通報システムに関しては今の制度を活用するという事で、大きな研究はしていません。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 187ページで伺います。生活困窮者ということで、これは社会福祉課だけではなくて、他の関係課とも連携をしていく中身だと思うのですが、令和元年ほかの課と連携をして相談に乗ったとか、支援をしたという例はありますか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 まず、ハローワークや企業への面接に同行等しております。また、障害者相談支援センターとも連絡を取り合っております。そういう実績はございます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） すみません。私の聞き方が悪かったようです。市の中で例えば水道料金であるとか、電気料だとか、そういう支払いができない状態にある方たちをこちらにつなげるというような対策というのはできているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 現在税務当局とか、ほかの家児相とか、そういったところでも、また水道もそうだと思いますが、そういう生活困窮の形があれば、連絡を来る形には今でもなっておりますが、昨年度の中ではどの期間からあったかどうかというのは統計は取っておりません。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） 水道課のほうでこれとそれに関して質疑が出ましたが、連携を行っていないということで、これから社会福祉課と連携を取れるようにしていくということでしたけれども、これまでそういうことでお話し合いをしたことってあるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 水道との話し合いは私の把握している段階では過去ございませんが、一般的に庁舎内の中でそういう話があれば、横のつながりというのはお互いあるというふうに認識していますので、話し合いは行われておりません。

- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 副委員長（岩井良枝） これに関しては、やはり中心になってやるのは社会福祉課だと思えるのですが、具体的に各課にそういう困難な状況にある人がいたらどうしてほしいということをお願いをするということは今まで一度もやったことがないですか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 過去の何年かについては私はちょっと申し訳ございません、把握はできないのですが、現在福祉事務所も限られた人員で対応しておりますので、相談者自らがこちらのほうに電話なり来庁いただくことで対応していきたいと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） もちろんご自分から相談ができれば、それは一番いいのかもしれませんが、その辺のところできちんと把握をしてあげて、生活支援の手を差し伸べるということが本来社会福祉なんかの仕事ではないかと思うのですが、職員さんが足りないということでそこまで手が回りませんというのはどうなのかなと思いますが、令和元年の中で本当にそういう中身のことが全然全くほかの課とは取れていなかったということでもいいのですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。
- 健康福祉部長 全く取れていないということはありません。いろんな背景を抱えているところからつながってくるケースはあります。そのうちの一つが生活困窮者としての相談のほうがいいでしょうねという、そういうつながりというのはもちろんあります。ただし、今おっしゃられたこちら側からのアクションというのはそれぞれの窓口のほうでこういった相談窓口があるよというところをお伝えする、そこまでは大切だと思っておりますけれども、なかなか福祉の分野からおたく困っていませんかというところまでは相手方のほうのお考えもございまして、難しいことかなと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） すみません、185ページの（15）の市民後見講座修了者が3人ということで、今市民後見人の資格を持っていらっしゃる方は何人いるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 3人になります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） これは市内で3人になったということかなと思うのですが、東部地区での把握というのはされていますか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 当市の3人だけの把握はしていますが、東部地区については把握しておりません。

- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 今回新規でこの事業が開始されたということで、3人誕生することができたということで喜ばしいことではないかなと思うのですが、これをまた次年度へと展開していくという検討等はされていますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 次年度以降もこの制度を行っていきたいと考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） 先ほど委員の方からも質疑が出たのですが、緊急通報システムの関係です。こちら登録台数がありますけれども、185ページの調書の独り暮らしの高齢者の方の人数の表がありますけれども、その人数とかなり設置登録をされている方との差があるかと思えますけれども、これに対して社会福祉課として何か検証といいますか、そういったことはされましたか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時37分 休憩

15時38分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 こちらは、ご家族であったり、ご本人であったり、民生委員なりの方が相談をしたときにご案内しているケースが多いものですから、今委員がおっしゃられた全体の中でこれだけのものだよねというところについて、特段検証等は行っておりません。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） そうしましたら、この独り暮らしのご高齢者の方へのこういった緊急通報システムがありますというような周知はどのようにされていますか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 先ほども申しあげましたけれども、高齢者サービスのチラシがございますので、それを用いて窓口でケアマネジャーと民生委員と関係者に機会があれば説明しているところでございます。これからも引き続き周知は図っていきたいと考えております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 今の続きですけれども、この設置台数だとか、この表を見る限り元年度は元年度の当初に比べて廃止の台数のほうが多いのです、倍以上に。この辺はどういうことなのかということに基づきなれば、基にということか、そこまでに

入っていないと数設置総数というの増やすことはできないのではないですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 廃止をされる方は、施設に入所された方、また亡くなられた方が主になりますので、あと携帯電話がこの制度が始まる当初は携帯電話というものもそうなかった時代だったのですが、携帯電話等もありますので、そこでご家族等がそのようにしている場合も含めて廃止台数が数えられております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 185ページの14、見守りネットワーク連携協定ということで、高齢者の生活の安全を図るということで協定を結んでいらっしゃると思うのですが、具体的にこの協定を結んでいらっしゃる事業者はどのような形でこれに参加をできるのか、高齢者の何を見守りしていけるのかという部分というの具体的に何かありますか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 各事業者が営業なり、裾野市内を回るときにそのときに気づいた点でご連絡いただく形になっておりますので、各事業所の営業といいますか、業務の中で把握した場合に連絡が来るという形になっております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 提携をしている中で今までに何かそういう連絡をいただいたような中身というのはありますか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 昨年度は実績がゼロでした。おとしは1件ございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○副委員長（岩井良枝） 特に高齢者の方なんかでそうやって見守りをしてもらっているということを今いろいろな詐欺とかいろいろなことが起きていの中で、きちんとどうしたら伝えられるのかなというところというのなかなか難しいところだと思うのですが、少しは安心材料になるような広報とかというのはされていますか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 ご指摘のとおり十分な広報ではないところもありますので、今後機会がございましたら、増やしていきたいと考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 今の件で関連して、この事業でもって例えば高齢者がいなくなったとかいうことでその情報を流して、気をつけてもらうような、そういうような連携というのはそういうふうな展開というか、そういったところまではいっていないでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 ケースによってはもちろん警察であったり、行いますので、ケースに応じて行っております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 積極的にそういうふうな情報提供をしているというような感じでよろしいのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 通報があったときにまず私どもで知り得る情報であったり、現場に駆けつけた中で必要に応じた行政機関と連絡を取るという形ですので、そういう意味では積極的といいますか、行ってはおります。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） そうすると、行方不明者が広報でしたりしますよね。そういうふうな形でこちらから事業者に対しての投げかけというのはしないで、あくまでも事業者からの情報を受けるというような、このネットワークは、そんな解釈でよろしいのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。
- 健康福祉部長 この見守りネットワーク事業というのは、あくまでも事業所がそれぞれの事業活動の中で高齢者を見守っていくということですので、ちょっとご質問の方面のほうには動かないかなと思っています。
- 委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。
分科会外委員の質疑をお受けいたします。
中村委員。
- 分科会外委員（中村純也） お願いします。187ページ、生活保護費です。保護廃止世帯が1番のところに書いてありますけれども、その就労などで経済的自立によって廃止された方というのは何件ぐらいなのでしょう。
- 委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。
- 社会福祉課長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時46分 休憩

15時46分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。
- 社会福祉課長 すみません。調べてお答えさせていただきます。申し訳ございません。
- 委員長（杉山茂規） 中村委員。
- 分科会外委員（中村純也） 御課のここでの目的は経済的な自立を指導する場所で

もあると思いますけれども、その意識づけというのはどのような状況になっているでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 ケースワーカーが訪問をしたり、窓口の中でお話しするのですが、その中で生活状況であり、また就労について情報提供をしながら相談乗って対応しているところになります。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 6番の方がケースワーカーかちょっと分かりませんが、それによって今どういう状況かをちょっと確認させてください。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時47分 休憩

15時49分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。

○社会福祉課長 生活保護者の中では体調面のことをどうしても気になってしまう方が多いのですが、ご本人は就労したいという意欲を持っている方が多いと感じております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 生活保護の中で自立に向けた動きをするというのは当然のことなもので、そういう意識を伝えてくるのは確かだと思っております。ですので、実態の中で確認をしたいなと思っておりました。では、令和元年度に保護開始が18世帯で、廃止が20ありますけれども、年度内で解消になった世帯がありますか。何件ありますか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 すみません。暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時50分 休憩

15時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
社会福祉課長。

○社会福祉課長 3件ございました。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） それは本人の意思だけですか、それとも指導の効果でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。

○健康福祉部長 ご本人の意思になります。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 181ページの6番のDV相談でお伺いします。二、三年前に県のほうから裾野市は専門相談員を配置していないということで指導というか、そういうのがあって、配置のお願いをしたのですが、今相談が増えています。現在相談の受入れ体制といたしますか、専門相談員の配置ってできているのでしょうか。現在というか、元年度できたでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 主に対応する者は男性職員になります。ただ、女性の職員も同席する形を取っております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） それは専門の婦人相談員というふうに理解していいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 そういう職員ではございません。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 専門相談員と市の職員ではちょっと効果といたしますか、やれることが違うのですけれども、それは今後検討しようという検討材料にはならなかったのでしょうか、元年も。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 先ほども申し上げましたが、住基措置という形の相談が多い現状がありますので、そういう検討は行っておりませんでした。

（「暫時休憩願っていいですか」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時52分 休憩

15時53分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 186ページです。毎年老人クラブ数がどんどん減っています。市としてはこの老人クラブを増やそうとしているのでしょうか、その辺の検討はどうでしょう。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 ほかの社会教育の関係の団体もそうですが、個々の活動を重視する流れもございますので、それぞれの活動を尊重しなければならないって点もあろう

かと思えます。現状このような補助金を交付することによって、老人クラブの活性化を図るということで現状行っていきたいと思っております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） その件分かりました。

最後に一つですけれども、182ページにやっぱり高齢者の生きがいとか介護予防のふれあい塾補助事業というのを御課がやっているのですけれども、これも減っているのです。これはやっぱり各区に広げようという意味があるのか、やっぱりこれも自発的というところを思っていらっしゃるのか、その辺。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 各区で事業展開していただくようにこちら側も希望しております。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 183ページからの老人福祉費の中で特殊詐欺の防止を福祉的な観点でというようなところは何かあったのですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 社会福祉課の所管する中ではございません。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時55分 休憩

15時56分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 電話があるから詐欺にかかるのです。例えば全部携帯にしてもらうとか、そういうふうな老人福祉の観点から特殊詐欺防止するという施策のような話は元年度は出ていなかったですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 検討は行っておりません。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） これからも検討行わないですか。これからはそういう可能性もあるのですか。

○委員長（杉山茂規） 社会福祉課長。

○社会福祉課長 現在のところ予定はございません。

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

（「すみません。先ほどの答弁……」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 訂正ですか。

（「回答できていなかった分」の声あり）

○委員長（杉山茂規） では、そこやります。

社会福祉課長から答弁漏れの発言の申出がありましたとして、これを許します。
社会福祉課長。

○社会福祉課長 勝又委員からございました敬老会の差額についてですが、1,310万2,000円になります。

(何事か言う声あり)

○社会福祉課長 1,310万2,000円になります。

○委員長(杉山茂規) 説明は終わりました。

委員の皆様、よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で答弁漏れを終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で社会福祉課の質疑を終わります。

暫時休憩します。

15時58分 休憩

15時59分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって散会いたします。

15時59分 閉会

健康福祉部

社会福祉部(答弁漏れ・答弁訂正) 令和2年9月29日(火) 9時00分～

○委員長(杉山茂規) まず初めに、社会福祉課長より答弁漏れ及び答弁の訂正について発言の申し出がありましたので、これを許します。

社会福祉課長。

○社会福祉課長 それでは、社会福祉課の令和元年度決算審査の答弁漏れと発言の訂

正につきましてご説明いたします。

中村委員よりご質問のありました187ページ、生活保護費主要事務事業の1、てきよう状況の保護廃止世帯の20世帯のうち自立して廃止となった世帯についてでございますが、6世帯でございます。

次に、大変申し訳ございませんが、発言の訂正をお願いいたします。勝又委員よりご質問のありました185ページ、敬老会事業費の支払済額の前年度との比較でございますが、「1,310万2,000円」とお答えしましたが、「1,203万4,000円」に訂正をお願いします。

以上で社会福祉課の説明を終わります。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。

委員の皆様よろしいでしょうか。

また、中村委員、続きがあれば。よろしいですか。

以上で答弁漏れについてを終わります。

9時00分 開会

○委員長（杉山茂規） ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配付のとおりであります。

審査の方法は、昨日と同様に当局の説明を求めてから質疑に入ります。

昨日に引き続き、健康福祉部関係の審査を行います。

健康推進課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願いいたします。まず、調書の145ページ、お願いいたします。2番の救急医療対策事業のところ、夜間の休日等の救急の利用の人数が減少しておりますが、減少した要因は何でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 まず、1点としましては、患者さんの専門と同様でない医師が常駐していた場合には他院での対応をお願いしていた点が1点あります。

もう一点は、2月から3月にかけての1か月間、コロナ疑いの患者さんを赤十字病院で受入れを開始したことに伴いまして、24時間対応が必要となり、一時的に夜間時間外の看護師をそこに張りつけた関係で、救急外来を閉じておりました。その1か月間の間で配置を調整して常駐できる体制を整備したという2点でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。

ちょっと確認なのですが、昨年度が382の来院に対して、入院が同じ数の入院だったという答弁を昨年度はいただいたのですが、今年度ちょっと数字的に入院の数が減っているというところはこういった状況の数字なのかというのは分かりますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 入院が減った原因ということは特段赤十字病院からも報告は受けておりませんで、通常どおりの休日と夜間帯の入院等の報告ということで利用人数を聞いておりました。主な理由は先ほどのやはり受入れの段階で主治医が診療科目が適した主治医が不在であったといった、そういったところになるかと思えます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。その件了解しました。

では、その下行きます。賃借料のところでは自動体外のこれって恐らくAEDだと思うのですけれども、こちらはリース、こちらはAEDなのですけれども、何台分に当たりますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 全部で6台リースしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） こちらは、場所はどこに配置されているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 現在富士山資料館、富岡支所、須山支所、中央公園、運動公園、ヘルシーパーク裾野となっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これは、AEDの今リースでもいいのですけれども、保有しているうち、総数のうちの何台、総数は何台ぐらいあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 暫時休憩いたします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時23分 休憩

9時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

健康推進課長。

○健康推進課長 健康推進課では6台を管理しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件了解しました。

次、146ページお願いします。一番下の①から④まであるうちの③のところお願いします。かなり元年度こころの相談の案内カードというところの啓発を頑張っていたいただきました。昨年に比べるとすごく枚数もやられておられます。こちら元年度非常に頑張られたというところ、何かきっかけといいますか、あったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 5番にありますいのち支える裾野市自殺総合対策計画というのを一昨年、策定いたしました。その関係でこころの健康相談のPR等を進めていかなければならないということもございまして、特にこのこころの相談に呼び込むためのカードの配布に力を入れました。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その啓発している活動に対しての効果といいますか、何かお声みみたいなことはありますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 コンビニエンスストアですとか、ドラッグストア、それからパチンコ屋さんですとか、市内のいろいろなところにそういったカードを置いていただいているのですが、その減っている数はかなりなくなっているというのが現状としてございます。

あともう一点、こころの健康相談に実際そのカードをお持ちいただいて、これを見てきましたといった形での相談の予約の方が複数名いらっしゃいます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。かなり効果があって活用されているということなので、継続して行っていただきたいと思います。

それでは、148ページお願いいたします。左側の下の（2）のところで、骨密度計のところ、測定というところが元年度、実施されていないという話で、老朽化ということなのですけれども、こちら元年度、老朽化ということで何とかというようなお話、検討みたいなことはなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 やはり健康教育ですとか、相談の場面では必要な機器になりますので、今後も購入や様々な機関からのレンタル等、方法を検討しながら整備する方向で調整したいと思っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。ぜひ保護者に限らず女性という方の観点からしてもあると非常に心強いといえますか、活用していただけるとありがたいものだと思いますので、検討のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 145ページの401事業の委託業務費の中で、こころの健康づくり講習会、これが30年度が報償費ですか、そちらのほうでなって、今回委託業務費のほうになっていると。29年度は委託だったのですけれども、30年度で報償費に変わって、また委託に戻ったという、その経緯をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 予算を立てる段階から講師の選定をある程度しておりまして、講師の派遣をする事業所に委託をしてそこから派遣をしていただく場合を想定して、あらかじめ委託料を確保していた場合と、昨年度につきましては講師が職員の知っている講師ということもございましたので、あらかじめ報償費払いでの調整をしていたということになります。昨年度については、講師派遣の委託の事業所にお願いをする形で派遣をしていただいております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 昨年度の報償費というのは分かりますでしょうか。こころの、ちょっと斜線になっているので。

- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 平成30年度の報償費は18万円になっております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 元年度、地域自殺対策強化事業費補助金事業というのがつけ加わっているのですけれども、昨年よりも減少した中で2つの事業をされているという形ですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時29分 休憩

9時30分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
健康推進課長。
- 健康推進課長 事業名につきましては、地域自殺対策の県の補助事業に該当しているかどうかという点で事業名が少し長くなっているということになります。ですので、昨年度も自殺対策の補助事業には該当していたのですが、正式な委託名称を載せた関係で、今年度は長い名称になっております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 同じページで沼津夜間救急センター運営費が先ほどの説明ですと利用者増によって増額になっているということの説明だったと思うのですけれども、その左の表を見ますと、利用者が減っているようにちょっと感じるのですけれども、ちょっと説明をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 沼津夜間救急医療センターの委託費用につきましては、年に2回に分けて支出しております。後期分については前年度の収入を加味した形での過不足を入れていく形になりますので、実際にはその年度の利用者数というのは翌年度の利用に反映されてくるような状況がございますので、ここでは患者数が減少しているというふうになっております。その関係で令和2年度には逆に費用は不足しまして、6月に補正をかけております。
- 委員長（杉山茂規） ほかいかがでしょうか。
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） まずは148ページの11番の不妊の助成の関係ですけれども、助成金額ここに掲載してありますけれども、助成でなくて実際に治療を受ける人の要するに実費はほぼこの金額と比較するとどのぐらいになるというふうに推測ができるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

- 健康推進課長 裾野市に申請してくる分は県の補助の対象になっている分を引いて、なおかつ裾野市の対象分のみということになります。個人で負担されている金額については数万円から数百万円に及ぶ方までいらっしゃいますので、総額の推計はちょっと難しいと思われます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 年度が変わってしまうような話ですけれども、新しい内閣で不妊治療関係を保険適用にしようという考え方が今出てきているのですけれども、そうなった場合にはここでいう助成というのは基本的には外れていくことになるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 現状ではまだ国からの通知が届いていないため、詳細については回答が難しいですが、現在も保険適用になっている部分、ならない部分を振り分けながら計算をしておりますので、もし該当になる、国のほうでそういった通知が来た場合にはそこを精査して取決めを行いたいと思います。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 150ページの予防接種の関係ですけれども、この中に高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種はありますけれども、まずその中で定期と行政に分かれていますけれども、中身の内容をちょっとご説明願います。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 定期の予防接種は国が定めております65歳以上の5歳刻み、65、70、75といった形の5歳刻みの方が対象となっております。行政措置につきましては、その対象となる5歳刻みから外れてしまって過去に接種をする時期があったにも関わらずまだ未接種の方を拾い上げるために沼津医師会との契約によって行っているものになります。ですので、定期の対象外という形です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ちょっと休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時35分 休憩

9時36分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 定期の接種で対象者に比較して接種の率が非常に少ないのですけれども、これは何か特殊な事情があったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 過去7年ほど前になりますか、そんなときから定期の予防接種は開始しておりまして、実際には対象者数はまだ受けていない方にはなっておりますけ

れども、実際には……すみません、暫時休憩お願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時36分 休憩

9時37分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

健康推進課長。

○健康推進課長 この対象者にはあらかじめ行政措置の対象とか、既に受けている方は抜いて対象者として選定しております。実際に接種をした方が少ないということに関しましては、理由は明確ではありませんが、コロナ禍の影響で接種を控えた方というのは多少影響があるかと思われま。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 医学的には証明されていないのしょうけれども、今回のコロナの感染症に対して、最終的には肺炎、これが重篤で亡くなる方がもちろん多いのですけれども、高齢者で。この肺炎球菌ワクチンを接種することによって効果が最後のところはあるのではないかと思うのですけれども、どうなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 コロナによる肺炎についての効果というのは現在は分かりませんが、肺炎の菌というのは数十種類ある中の23種類をこの肺炎のワクチンの中に込めてワクチンができ上がっております。ですので、それらに該当した肺炎については十分な効果があると考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 今何か回りくどい言い方しましたけれども、コロナの感染予防でワクチンができるまでの間になるのしょうけれども、冬のインフルエンザの流行も含めて接種者が非常に少ないものですから、年度がもう今年度になりましたけれども、これからの中で接種の率を上げるような取組をしてもらいたいというふうに思います。

次に行きます。151ページに先ほど説明ありました重症化予防対策、この取組で、この中に36名中22人に家庭訪問を実施したという、継続的などということですが、これをしたことによって何かその後で効果のようなものというの現れているのしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 ここにありますe-GFRという糸球体の濾過量という数値については年齢とともに下がっていくものなので、これが劇的に改善するということは考えにくいのですが、生活習慣が改善されてほかの数値も含めて体調もよくなったという方は複数名いらっしゃいます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

- 委員（土屋秀明） 最後、154ページのアンバサダーの養成講座ですけれども、26人の方が参加されてということですから、参加をされたこの方たちは何か個人として手を挙げてきたのか、あるいは何か組織とか団体に常に関与しているような人たちが参加したのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 現在の組織の中から出ていただいた方もありますが、一般公募によってのご参加の方もいらっしゃいますので、ご自身の希望によってご参加いただいている方もあります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） この方々は、その後に具体的な活動はされているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 定期的にチラシ等を配布していただくようにこちらからお願いをしたりですとか、いろいろな団体が集まるような会を設けておりますので、そちらにご参加いただいて勉強会などを継続して実施しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時41分 休憩

9時42分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） この養成講座、これからも継続して行ってさらに活動してもらいたいと思うのですけれども、2年度以降もこれは同様なことは取組は続けるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 もともとこの健康アンバサダー事業、この事業は静岡県の主催で実施しているものです。ただ、静岡県が昨年度で事業の終了を、昨年度までで静岡県の事業終了していただきますので、今年度以降につきましては裾野市としてのこのアンバサダーの在り方、それからその拡大事業ということについて検討してまいりたいと考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 150ページの3番の風しん抗体検査なのですけれども、これ対象者は全員でまだないと思うのですけれども、残りというか、すみません。元年度は全体の何割ぐらいを実施したということでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時44分 休憩

9時47分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

健康推進課長。

○健康推進課長 抗体検査を受けたのは全体の6.4%となっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 6.4%というのは少ないようにも感じるのですけれども、その点はどうでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 おっしゃるとおりです。国が今回オリンピックも見据えた中でこの風しんの抗体検査等を実施している中、6.4%というのはかなり少ないというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 次年度もまだ残りの対象者があると思うのですけれども、次年度に向けての検討とかありますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 毎年の対象者は前年度受けていない方を対象というふうに考えていきますので、残りあと2年間、今年度も含めて2年間という形になりますが、その方たちにできるだけ受けていただけるように通知を発送しながら啓発をしていきたいと考えております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） すみません。ヘルシーパークの件なのですけれども、156ページ、コロナ感染で休業補償ということで休業補償がされています。それで、休業中の従業員はどのような対応をしていたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 今回は短期でしたので、全ての方お休みということではなかったようですが、正規の職員につきましてはほかの業務等、草を取ったりですとか、ほかの業務も含めて実施していたというふうに聞いております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） この期間に例えば自宅待機というふうな、そういうふうな指示とかはなかったというふうな。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時49分 休憩

9時50分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

健康推進課長。

○健康推進課長 指定管理なので、特に分かりません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） この補償費なのですけれども、これは入場料の補償というふうなことでしょうか。入館料の補償。

○委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。

○健康福祉部長 3月補正の折りにご説明申し上げましたとおり、収入と経費とを相殺しまして休館の影響による収入源となったところを補償しているという、基本的にはそういった考え方です。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時51分 休憩

9時52分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） すみません。簡潔に。148ページの12番、子育て世代の包括支援センターですけれども、これ30年4月から開始されたので、かなり横の連携とかも取っていただいているかと思えます。元年度、体制の検討会を3回実施したということなのですけれども、検討した内容はどのような内容だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 主には包括支援センターの周知をどうやっていくかですとか、あとは就学前の子供さんたちの対応について各課の連携を取りながら上手に情報共有をしていくための方法について検討を行っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 体制についてはどうですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 もともと裾野市がこの方式を採っておりますのが、7課による連携というのが上手に取れていたという経緯がございまして、その形を裾野市独自の方式としてつくっておりますので、連携につきましては今回包括ができたからということではなく、かねてからの連携が十分あったというふうに認識をしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件了解しました。では、横の連携もしっかり取っていられるということが分かりましたので、継続した活動をお願いいたします。

次、152ページお願いします。令和元年度より乳がん検診、エコーの検査が中止ということで、ちょっと気になるのが過去2年で受けていただいているのが600人から700人ぐらいいたかと思うのですけれども、これ中止したことによつての残念という

か、お声みみたいなようなことはなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 特にそういったご意見等はいただいております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） これ中止にして変わりのものというものが（7）番の契約的要素になるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 おっしゃるとおりです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そういった方向を変えての反響といたしますか、効果的のようなものは何かございますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 具体的に今回ブレストケアグラフを配布したことによる効果というのは特段感じられてはおりませんが、こちらにつきましてはずっと若い世代から継続して行うべきものというふうに健康推進課では捉えておりますので、イベント等を行う際のがん検診の啓発等は続けて、過去にも行ってきましたが、今後も続けて行っていきたいと考えております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。いずれにしましてもいろいろケアなり検査しないと分からないような案件だと思いますので、こちらも継続でお願いいたします。以上です。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 153ページですけれども、訪問指導事業ということで、ここを見ますと生活習慣病の指導ということになっているのですけれども、どのような指導をされるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 こちらには肝炎ウイルスの検査で問題があった方ですとか、重症化予防のための家庭訪問等も含んでおりますので、あとは血圧が高い方、あと脳血管疾患の既往があるような方を対象として訪問等を実施しております。基本的には日常生活での注意ですとか、それから食事、運動等についてのお話をしてくることが多くあります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 生活習慣ということで、その改善ということで運動だとか、そういうふうな指導をされるという考えではない。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

9時57分 休憩

9時58分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 訪問事業でそこからほかの事業なりに導くような、そういうような指導とかはされていますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 ご本人様のご希望にもよりますが、できるだけそういったことはお伝えしてつながるように支援をしております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○委員（岩井良枝） 150ページからお願いします。2番ですが、風しん抗体検査、これたしか平成30年までは県の事業として実施と伺ったような気がするのですが、令和元年度は市単として引き続き行ったということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 抗体検査につきましては県の事業として継続してあります。こちらにつきましては、この2番の風しんのことにつきましては、あくまでもワクチン接種のものになりますので、そちらは市の単独事業として実施しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 147ページ、（2）番で、14回を超える健診について、令和元年度から市の補助をやめていますが、それはなぜでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 裾野市の単独部分を外して国の実施要領に従った部分のみにいたしました。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時01分 休憩

10時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

健康推進課長。

○健康推進課長 行財政改革の流れの中で事業を見直しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） そうしますと、どのくらいの方が14回を超えて健診を受けていらっしゃるかという人数の把握というのもできなくなっているということによろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 現在人数は把握しておりません。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） それはちょっと難しい話になってしまいますか。
すみません。暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時02分 休憩

10時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
岩井委員。

○委員（岩井良枝） 質疑はいいです。

お伺いします。市単で補助をしていた金額というのはどれぐらいだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時04分 休憩

10時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。
健康推進課長。

○健康推進課長 1回当たりの単価が4,000円ですので、それ掛ける人数となります。
（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時05分 休憩

10時06分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。
岩井委員。

○委員（岩井良枝） 次行きます。146ページ、5番になります。いのち支える裾野市自殺総合対策計画というのが31年の3月にできていて、令和元年度に市教育委員会の関係部署で多分会議を行ったのだと思うのですがけれども、その進捗状況と今後の対策、どのような話がされたのか、少し聞かせていただきたいと思います。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 会議につきましては年1回実施をしまして、事業に対する共通認識を持つための会議というふうに考えております。その後の進捗につきましては、教育委員会ではSOSの出し方教育を健康推進課と連携して実施したりですとか、こころの健康相談の充実と講演会の実施等も行っておりますので、その中での事業展開と考えております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 裾野市では、若年層よりも若干高齢の方のほうが今までも自殺

をする方が多かったということなのですが、令和元年度はどうだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 人口動態統計等も含めまだ令和元年度の実績というのが出てきておりませんので、不明です。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） すみません。その下になります。かかりつけ医による医療の満足度ということがあるのですけれども、実際かかりつけ医を持っていらっしゃる方の割合というのは全体としてどうなのでしょう。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時08分 休憩

10時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 本日は正確な数字は持ってきておりませんが、実際にかかりつけ医を持っている割合というのは過去の統計を見ますと7割前後はいたと思います。

（「すみません。もう一度お願いします」の声あり）

○健康推進課長 過去の統計データ、裾野市の健康推進課で実施した統計調査によりますと7割前後いたと思います。

（「分かりました。ありがとうございます。」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 148ページのパパママスクールについてなのですが、初妊婦、夫を含むということで、夫の割合はどのぐらい参加しているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時09分 休憩

10時10分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 平成31年度では夫、その他の参加が延べで77名となっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） ほかの6か月教室だとか、ほかの育児教室への夫の参加という

のはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 僅かではありますが、ご主人様のご参加もあります。

（「ありがとうございます」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 調書145ページの1番の保険事業及び会議等のところで記載されています沼津医師会との協議、令和元年度はどのような内容で行われたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 主にはがん検診、予防接種等の部会ごとの打合わせに行政が参加するような形態で行われております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしましたら、具体的に市のほうから沼津医師会のほうに何か要請をした項目等ありましたでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 10回の沼津医師会の会議ではございませんが、その後ろにあります沼津医師会裾野支部2回という会議の中では、市の事業についてのご説明ですとか、協力要請等を行っております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしましあたら、協力の要請のいろいろあると思いますけれども、その中から何か主なものをご紹介いただけますか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時12分 休憩

10時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 健診への協力ですとか、医療救護体制についての訓練も含めた連携についてお願いをしております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件は分かりました。

次です。調書の150ページの5番になります。災害医療関係なのですけれども、こちらで市内6企業との意見交換をされたというふうに記載がありますけれども、企業側からはどのようなご意見があったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時13分 休憩

10時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

健康推進課長。

○健康推進課長 実際に発災した際の救護病院への患者の搬送についてですか、市との連絡体制についての話合いが主となっております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、搬送体制とか市への連絡については現状心配な点があるという、そういう状況というふうに認識してよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 これまで6社の企業も含めてそういった会議を設けたことがございませんでした。ですので、企業の考え方を伺うとともに、市の医療対策の調整所というのを福祉保健会館内に設けますので、そこを経由しながら赤十字病院への搬送ですとか、災害対策本部との連絡調整を行うということでの同意はおおむね得られましたので、特に不安といった点では今後実際発災が起こらない限りはちょっと分からないところではあります。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 逆に市のほうから企業側のほうに何かこういった点を特にご協力いただきたいような、そういった内容のお話ということはされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 危機管理の部門で定期的に企業とは連携会議を行っているので、その中で調整をしているというふうに伺っております。

（「分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 147ページですけれども、先ほど来出ています妊婦健診の14回を超える健診についての県ですが、静岡県内の他の市町の状況はどのようになっていますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 近隣市町でも横出しで市の単独事業として実施しているという話は聞いておりません。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 静岡県下でやっているところは全くないということですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 全県の状況については把握をしておりますが、近隣市町の状況を伺う限り、そちらでは実施しているというお話は聞いておりません。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） 昨年度の37件に4,000円という掛けた、その数字を考えたときにこれから全国で本当にこの制度が広がっていく、14回を超える健診についてもちゃんと補償していくという方向性をつくるためにやっぱり頑張ってやっていたほうがいいのかなと思うのですけれども、そういう点についてはいかがですか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 確かにこの14回を超える健診自体は減少しておりますが、国の考え方としまして妊婦健診だけでなく、産婦健診等も回数が増えてきております。ですので、産後2週間後の医療機関受診の健診も昨年度から増えておりますので、そういったところで医療機関ですとか市とのつながりというのはかなり増えてきているので、フォローアップの体制としてはでき上がってきているというふうに認識しております。

○委員長（杉山茂規） 岡本委員。

○分科会外委員（岡本和枝） あと一点、146ページに医療機器の整備事業でマンモグラフィの装置の購入が入っているのですが、これは2台目という意味ですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時18分 休憩

10時19分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 こちらは、2台目の購入ということではなく、リース契約の継続という形になっておりますので、新たにここで1台ということではありません。

（「分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） すみません。146ページの3の赤十字病院補助の一番下のところですが、医師確保等新事業、これは前は等がなかったと思うのだけれども、等がついたのはいつごろからですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時19分 休憩

10時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 数年前から等という文言は入れて、事業自体の考え方を変更しております。

○委員長（杉山茂規） 小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） その事業の考え方の変更なのですからけれども、医師事務作業補助って具体的にはこれどういうことで医師確保になっているか、支援になっているかということ。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 本来であれば医師がそのまま確保できればよろしいのでしょうかけれども、人材の不足等がございまして、少しでも現在いる医師の負担を軽減するために事務的な補助作業、例えば診断書の準備であるとか、文書の作成等を医師に代わって行う事務職員を確保していた場合に、そこについて支払うという考え方になっております。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時22分 休憩

10時22分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） この2名で1人100万円で240万円という辺りの説明をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 赤十字病院で雇用されている2名分のこの244万円のうち200万円を市が補助しているということになります。

（「分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） お願いします。145ページの赤十字病院さんの救急からの依頼件数は把握されていますでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時23分 休憩

10時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 要請回数は把握しておりません。

○委員長（杉山茂規） 増田委員。

○分科会外委員（増田祐二） 要請件数把握されていないのでは実施に日赤がどれほ

ど救急に対して、赤十字病院さんが救急医療に対して貢献度があるかというのはちょっと判定しかねるところなのですけれども、その点踏まえて赤十字病院の補助、毎年同じ額で補助されていますが、これの妥当性の検証というのは御課の中でされていますか。

- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時24分 休憩

10時26分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康福祉部長。
- 健康福祉部長 サービス向上委員会等を通じまして、赤十字病院の地域の急性期医療に果たす役割を考えますとこの金額について妥当なものであるという、そういった認識がございます。
- 委員長（杉山茂規） 増田委員。
- 分科会外委員（増田祐二） 先ほど課長の説明の中で専門の先生がいないために他院のほうにというふうな、搬送されるというふうなお話がありましたので、その部分がケアできていないのであれば、一体何のための補助なのかなというふうに疑問に思ったもので、その点を考えての質疑でした。今後またよろしくをお願いします。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
賀茂委員。
- 分科会外委員（加茂博美） お願いします。ヘルシーパークの件です。156ページになります。指定管理が再指定されてから2年目になっていますけれども、基本協定に沿った事業の実施については確認をされていますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 令和元年度にはモニタリングも行っておりますので、事業については確認をしております。
- 委員長（杉山茂規） 賀茂委員。
- 分科会外委員（加茂博美） 監査のほうの指摘で基本協定に沿った事業の実施が不十分であったという指摘がされております。実際に実施されなかった事業というのはどういったものになりますか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時27分 休憩

10時28分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 協定に基づく事業提案ではなくて、もともとヘルシーパークが実施する取組としての事業の部分で、例えば無料Wi-Fiスポットの設置ですとか、ジョギングやウォーキングとの組み合わせによる健康増進事業等の実施が不足していたということでございます。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（加茂博美） 利用者アンケートについては実施されましたか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 利用者アンケートは実施しておりますが、満足度を諮るような内容ではございませんでしたので、その辺りについては今年度もヘルシーパークにアンケート調査の実施をお願いしております。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（加茂博美） もう一点、指定管理者自身によるセルフモニタリングというものを実施しなければいけないというふうになっていると思いますが、そこらは実施されましたか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時29分 休憩

10時30分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

健康推進課長。

○健康推進課長 昨年とモニタリングを行う前段階としてセルフモニタリングも実施しておりますので、その点につきましては把握をしております。

（「分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 井出委員。

○分科会外委員（井出 悟） すみません。お願いします。同ページ、ヘルシーパークの件ですけれども、御課で恐らくまとめたかと思うのですが、施設カルテの中で市民アンケートの結果が出ています。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時30分 休憩

10時31分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

井出委員。

- 分科会外委員（井出 悟） かねてから利用料の公平性の観点で市民外の料金設定の必要性は述べている、議会でも述べられていると思いますが、入館者数の内訳を調べるような取組は令和元年度、されましたでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 昨年度入館者数の内訳について調べるような事業は行っておりません。
- 委員長（杉山茂規） 井出委員。
- 分科会外委員（井出 悟） この入館者数の調べというのは市民アンケートに頼るのではなくて、入口で測れば済む話なので、そういう部分の検討というのは現在もされていないということですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 現在はコロナ禍で来客の管理も含めた形での住所地等の把握を実施しておりますので、現状は全て分かります。
- 委員長（杉山茂規） 井出委員。
- 分科会外委員（井出 悟） ということは、令和2年度の内容については入館者数の内訳はできる。今後もそれを期待していいということによろしかったですか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 6月のヘルシーパークの再開からは把握をしておりますので、全てではないです。4月の当初分は抜けておりますので。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） すみません。お願いします。先ほどの日赤のことの続きでお願いします。裾野市は多額な補助金を出しているのですけれども、その中で日赤の赤字体質の改善というのは、市としてはどのように関与できるのでしょうか。暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時32分 休憩

10時35分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康福祉部長。
- 健康福祉部長 直接的な経営の中に踏み込むことはできませんけれども、サービスの内容等、側面から支援して経営の改善につながっていただければというふうに思います。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 日赤の事務長は市の職員の退職した方が行くというのが一例になっていきますけれども、これはやっぱり何か意味合いがあるのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 健康福祉部長。
- 健康福祉部長 暫時休憩願います。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時35分 休憩

10時36分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
内藤い委員。
- 分科会外委員（内藤法子） ただいまの質問は取り消します。
それでは、ちょっと基本的な問題で145ページで職員数が1人増えたというふう
に、いいことだと思えます。この方はどういう職種の方でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 健康推進課長。
- 健康推進課長 当課の事業を実施していただくために保育士を1名増員しております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 様々な職種の方がいますけれども、この17人、先ほども
歯科衛生士とか助産婦とかいらっしゃいましたけれども、ちょっと内訳を、どの
ような専門職がいるのか教えてください。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時36分 休憩

10時37分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康推進課長。
- 健康推進課長 保健師、歯科衛生士、看護師、助産師、保育士、栄養士等となっております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。
- 分科会外委員（内藤法子） 保健師が足りないという話はずっと聞いていたのです
けれども、今体制としては十分でしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

10時37分 休憩

10時38分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
健康推進課長。
- 健康推進課長 現状、健康推進課の事業を実施する上では足りております。
- 委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） では、最後に1つお願いします。147ページの5番の産後ケア事業ですけれども、これはとても大切だと思うのですが、これが利用者がなかったというのは事業としての評価は元年度どのような評価をなさっていますか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 この産後ケア事業につきましては、自宅で療養したりですとかがかなり困難な状況に陥った方が利用するサービスという認識も持っておりますので、要保護児童対策協議会とも連携しながら、こういったケースが少なく済むような事前の調整というふうな考えで日々の家庭訪問ですとか、電話相談等を実施しております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 少なくて済むというのが一番いいのですけれども、これはゼロであっても今後これを利用率を上げるということで、事業としては積極的に進めるということで、維持するということがいいのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 健康推進課長。

○健康推進課長 どうしてもこのサービスを利用しないと生活がうまく回らないという方に対しては、すぐさま利用ができるようにチラシの配布ですとか、事業のPRについては赤ちゃん訪問等を実施する中で行っております。

（「分かりました。ありがとうございます」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で健康推進課の質疑を終わります。

健康推進課（答弁訂正）

○委員長（杉山茂規） まず初めに、健康推進課長より発言の訂正の申し出がありましたので、これを許します。

健康推進課長。

○健康推進課長 健康推進課の令和元年度決算審査の事務事業調書の訂正につきましてご説明いたします。主要事務事業調書150ページ、1、法定内予防接種表の下から5段目、高齢者肺炎球菌（定期）の対象者が2,476人とありますが、正しくは1,724人

の誤りです。大変申し訳ございませんが、訂正お願いいたします。

なお、この差は先ほどご説明をいたしました但、既に接種をされた方を抜いて減少してきたものです。

以上で健康推進課の説明を終わります。ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。委員の皆様、よろしいでしょうか。

以上で発言の訂正についてを終わります。

介護保険課（第1号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の繰出金関係の表ですけれども、そこ見ますと介護、特会への繰り出しの金額が30年度と比較して金額が増えておりますけれども、この辺はこの金額増えていることに対する分析はどのようにしておりますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 まず、特別会計の繰り出しになりますが、一番大きく増えている部分につきましては、低所得者に対する保険料軽減に対する繰り出し部分になっております。こちらのほうは、国の法定で軽減強化をした結果、国からの特定財源、県からの特定財源も増えております。こちらの部分が一番大きな要因というふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、介護保険課としましてはこの状況というのは想定の間接であるということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 介護保険のほう、3年に1回介護保険の事業計画というのを作成しております。その中で向こう3年間の給付費の見込みを立てておりますが、その見込みの範囲内ということで考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

小林委員。

○分科会外委員（小林 俊） 今の国庫、低所得者の繰り出しですけれども、それが一般会計に入って介護保険会計に入らないということも、それも法定でそうなっているということ。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 はい、そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

す。

介護保険課（第4号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。164ページお願ひします。平成30年度から外部の力を入れ始めたということで、（3）のところ、コーディネーターを委託、地区4つという話がありました。コーディネーターは何名配置されたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 コーディネーターにつきましては、第1層、これが市全体になりますが、こちらのほうに1名、それから第2層が4圏域となりますので、各圏域に1人ずつで4名ということになっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 介護事業として委員会とかいろいろ行事をやっていたいておりますが、これ始まったばかりということで非常に力を入れ始めたところでありませけれども、令和元年度、今後についてどのようなことでやろうというようなお話ってされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 ちょっと休憩お願ひします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時13分 休憩

11時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

介護保険課長。

○介護保険課長 まず、各地域で今ある資源、それからこれから欲しいと思っている資源というものを出していただいて、どんなサービスを今求められているのかというところを出していただいて、そちらのほうを整備できるものは整備していきたいというところと、実際に今ありますサービス、そういったものを皆さんに知らせる努力をしてほしいということで、商工会等といろいろ話をしていただいて、そういった資料づくりですとかというのを今外出ししている状態です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 分かりました。その件了解いたしました。

（4）でチームをつくられたということで、会議を本年度3回やられたのですが、その辺の成果と申しますか、結果がありましたら教えてください。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 初期集中支援チームというのが県、それから国の指定された研修を

受けました認知症サポート医、ドクターの方と、医療職、保健師、あと福祉職、包括にいます社会福祉士の3名でチームをつくっております。こちらのほうで困難ケース、何かを要は単身世帯で認知のある方、身寄りのない方なんかのフォローをしたりとか、夫婦でお二人で認知になってしまってやっぱり周りにサポートする方がいない方というようなところに入りまして、早期の医療への継続、それから介護への申請というような形を取っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その辺の実績というのは捉えているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらのチームに医療職として市の保健師が入っておりますので、途中の経過、それから実績についてもこちらのほうで経過分かっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 了解しました。ぜひ目標等々も立てつつ、継続してお願いいたします。

165ページの（1）です。認知症サポートの要請事業というところで、延べ人数で462人という、あと回数にしては12回なのですが、これ毎年行われていまして、実際この辺のサポート人数というのは今どれくらい累計でいらっしゃるのかというのは把握をされているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 すみません。暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時13分 休憩

11時13分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 人数については把握しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その人数を把握されている中で、この事業をやる上で目標、総合的にはどれぐらいを目標というような数値ってお持ちなののでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 特に人数的な上限の目標というものは持っておりません。

すみません。暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時18分 休憩

11時19分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時19分 休憩

11時20分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） よろしくお願います。158ページで（2）のところですか。指導ということで立入りがされていますけれども、立入りでの状況、内容等分かりましたら。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの指導ですけれども、立入り指導というのが市の指定を受けた事業所に関しては6年に1度立入り指導をなさいますよということになっております。その中で実際のサービスを提供する定員が足りているのか、出勤簿等々のチェックです、そういったものから事業所によっては加算をつけている事業所がありますので、その加算となる要因となる資格者がしっかりいるのかというものを書面等でしっかり見させていただいております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 元年度のこの立入りでは何か問題があるような、というか指導したような事業所等がありますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 元年度の指導では特に問題は見つけてございません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 160ページの5715で、ごめんなさい、ちょっと違ったかもしれない。認定調査ということで審査会等で要介護の認定をされるかと思うのですが、この辺で……ちょっと休憩で願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時22分 休憩

11時23分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） すみません。この認定調査の段階の認定をする場合、どのような形で認定をされていくのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 認定調査につきましては、認定項目、八十何項目あったかと思いませんけれども、そちらの項目に沿った調査を行って、全国で決まった基準がありますので、それによってできる、できない等のチェックをつけていきます。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） その評価について、ばらばらになるとか、評価が分かれるようなこととかはないのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 認定審査会で取りまとめるときにはこの認定調査だけではなく、主治医の意見書、先生の意見書が一緒に入って、その2種類の調書を基に決めています。5人の先生方で認定審査会開催するわけですが、その5人の中で全会一致を基本としておりますので、意見が食い違えばそこで意見を述べ合って一致を図るといような形を取っております。
- 委員長（杉山茂規） 勝又委員。
- 委員（勝又 豊） 八十何項目の項目で審査していくということですが、それに対してAIを使って参考にするとか、そういうふうな取組というのは検討みたいなことは元年度はなかったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 認定審査会で出す調査表のチェック項目、そちらのほうを機器判定をかけております。できるだけ何点、できなだいだったら何点みたいな形をして機械判定で1次判定ということで介護度幾つくらいというのは機械的な判定は出していますので、そのような取組は制度当初から入っております。
- （「分かりました」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
- 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 158ページ一番下、右のサービス運営委員会ですけれども、委員数が12名ですけれども、この委員というのはどういうような方なのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 こちらのほう設置要綱のほうで定められた委員さんになりますけれども、1号の被保険者の代表の方、それから2号の被保険者の代表の方、それからサービスを提供する側の方、あと保険医療に関わっている方、そういった方が委員というふうになっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 2回ほど委員会が開催されておりますけれども、このそれぞれ内容はここに記載してありますけれども、これはそのまま2年度に事業として結びつくということなのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

- 介護保険課長 まず、基本的な考え方としましては、第1回が当年度の計画について説明をさせていただきます。2回目につきましては次年度の計画とともに、その年に行いました地域密着サービスの実際の振り返りですとか、実績なんかを皆さんに審議していただいております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） そうすると、2回目の3月の委員会の中では、元年度の行ってきた事業の内容を含めて課題があるとか、あるいはこういうふうに変えたほうがいいのだというようなこともそこで意見として出てくるということなのですか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 はい、そのとおりでございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 160ページお願いします。右下に介護認定の状況が表がありますけれども、その下に参考で文字、該当数100件というのがありますけれども、ちょっとこの内容についてご説明お願いいたします。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 暫時休憩をいただけますでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時28分 休憩

11時29分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
介護保険課長。
- 介護保険課長 国の新しい政策で総合事業という事業がございます。こちらの事業の中で要支援になる前の方の状態でもチェックリストに該当する方はデイ・サービスとホームヘルプを受けられるといった制度になりますが、こちらに該当する方が100名いらっしゃるというところになります。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ありがとうございます。よくいうフレイルのような、そういうことですね。介護に入る前の段階でいかにして止めるかということですね。
次に、161ページの2の介護保険サービスの受給者、この件ですけれども、サービスの受給者がそれぞれ記載されていますけれども、よく例えば特養の入居したいのだけれども、入居ができずに待っているとかなんかというようなことも含めて、希望しているところにまだサービスを受けられないという方は実態にはいるのでしょうか、それともその辺は解消されているのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 実際には特養に入るのを待っている方という方はいらっしゃいます。

すみません。暫時休憩いただきます。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時31分 休憩

11時32分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時32分 休憩

11時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 162ページの事業対象者のところにチェックリストのみ該当者の100人というのは、先ほどの160ページでお答えした100件と同じなのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） チェックリストを回答した、チェックリストを行った人数というのは分かりますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 実際チェックリストを受け付けておりますのが両包括、それから市役所の窓口で行っておりますので、チェックリスト該当者というのは把握しておりますが、何人の方が書かれたかというところまでではすみません、把握しておりません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） やはりチェックリストを行う人の人数というのを増やしていかないと該当になる方も増えないのではないかなと思いますので、その辺このチェックリストの対象者を増やしていこうというふうな、そのような考えというのはあったでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 このチェックリストの方を増やしていこうということではなくて、本来サービスを受けたほうがいい方にサービスを提供したいというふうに考えておりますので、話を聞いて、中にはチェックリストではなくて介護の本申請をしていただく方もいらっしゃいますので、まずご相談を受けるような体制、相談をしやす

い窓口体制というのを整えていきたいというふうに考えております。

(「暫時休憩でお願いします」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

11時36分 休憩

11時38分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

勝又委員。

○委員(勝又 豊) 先ほどの質疑は取り消します。

○委員長(杉山茂規) ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○委員(岩井良枝) 163ページの(3)番のその他の活動のところで伺いたいのですが、自治会民生委員などとのネットワークツールというのが一昨年にも同じように書かれていたのですけれども、現在の状況というのはどうなっているのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらのほう包括支援センターの業務の中でその他の活動というところで掲載をさせていただいております。その中で包括支援センターとしても各地区でやられているサロンへの参加、協力をしていただいたりですとか、民生委員さんの会議の中へ出席していただいたりしておりますので、そういった部分で地域とのネットワークをつくっていただいて、より事業のしやすいようにということで、こちらのほうに掲載させていただいております。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○委員(岩井良枝) ネットワークづくりは順調に進んでいるということよろしいですか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 はい、そのように感じております。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○委員(岩井良枝) 164ページ、(4)の地域支援ケア向上事業なのですが、認知症地域支援推進員の配置、これは市のほうに配置がされているということでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの地域支援推進員の配置ですが、当課、介護保険課に保健師2名おまして、こちらの2名、それから両包括に1名ずつこちらの推進員を配置しております。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○委員(岩井良枝) すみません。1つのまとめたところで4人を配置しているということではなくて、市と包括に配置をしているという、分かりました。

そうすると、すみません、その上になります3の生活支援体制整備事業のところ

なのですけれども、第2層として西、東、深良、富岡、須山に協議会ができてきているということなのですけれども、すみません、その協議会の仕上げを昨年行ったということなのですけれども、ちょっとイメージがよく分からないのですけれども、もう少し説明できますか。

- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時41分 休憩

11時44分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
介護保険課長。
- 介護保険課長 協議体については、昨年度まず立ち上げたばかりというところですが、協議体の役割としては今ある地域資源の把握、それから足りない資源は何かというところを話し合っていて、そういったものをこれから事業化に向けて推進していくというのが協議体の役割となっております。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 協議体に参加をしてもらおう方たちというのは、先ほどお話があった事業者さんまで含めた方たちで形成をしていくということになりますか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 そちらについては、各圏域によって状況が違うと思いますので、その中で話し合っ、メンバーも自由に構成してくださいということをお願いをさせていただきます。
- 委員長（杉山茂規） 岩井委員。
- 委員（岩井良枝） 立ち上げをしたということですので、その辺の構成については把握はもうしていらっしゃるということですのでよろしいですか。
- 委員長（杉山茂規） 介護保険課長。
- 介護保険課長 立ち上げにつきましては、こちらで先ほど申し上げましたメンバーで立ち上げをやってくださいということをお願いをさせていただきます。今年に入りましてコロナの関係で協議体、コーディネーターの活動は行ってもらっているのですが、協議体が行われていない状態ですので、今後協議体が行われれば把握できるというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） まず、調書の159ページの4番のこの保険者機能強化推進交付金なのですけれども、国の算定ということなのですけれども、30年度と比べて交付金額が増えておりますけれども、主に国の算定に影響する項目といたしますか、条件と

ますか、そういうものは主なものはどんなものがありますでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時46分 休憩

11時47分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 国が指定しております評価指標というのがございまして、そのチェックによるところがございまして、項目が多くございまして、幾つか代表的なものを答えさせていただきますと、地域包括ケアの見える化システムを活用しているかですとか、日常圏域ごとの65歳以上の人口を把握しているかですとか、保険者の方針に沿った地域密着型サービスの整備を進めているかといったようなチェック項目がございまして。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、たくさんの項目があると思いますけれども、増額をされているということは評価をされたというような捉え方もできるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの国の強化推進交付金の要綱を見ますと、やはり国の予算の範囲内というふうなうたいがありますので、申し訳ございません、基の国の予算の金額が分からないものですから、そちらの範囲内ということで、もしかしたらそちらのほうが減れば金額も評価が上がっても金額が下がる可能性もあるというふうには感じております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 了解しました。

調書の163ページの包括支援センターの関係ですけれども、裾野包括と北部包括がありますが、この表を見ますと対象になられる方の人数が表の中に記載をされております。これ見ますと、北部包括のほうの対象人口が裾野包括よりも人数少ないのですけれども、この下の次の表、（2）のほうですか、表のほうを見ますと、相談件数が（2）のほうの表に載っているのですけれども、これ見ますと対象人口が少ない北部のほうの相談件数が多いという、これの要因について教えていただきたいと思っております。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 こちら裾野包括と北部包括、設置した時期が違うということもございまして、こちらの相談件数の1件数当たりのチェックの仕方が違うということで、どちらかというとならありました裾野包括のほうのこれから活動につながっていくものについては相談というふうには捉えるようではございますけれども、普通にかかってき

た電話については何でもかんでも相談という捉え方はしていないということで、相談の件数としてのレベルが違かったものですから、今数字が北部包括のほうがはるかに多いということになっております。こちらのほう介護保険課のほうでもやっぱり数字に違いがあるのはちょっと問題があるということで、今年の6月に両包括呼びまして、様式の統一化とどういうときにチェックをつけるということをちょっと話し合っ、市のほうで様式を作って渡してありますので、来年以降の報告の中では数字がもう少し近づいてくるというか、いい数字になってくるというふうを考えております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 今の件は分かりました。

同じ包括支援センターの関係ですけれども、裾野包括で保健師が不在の時期が何か月かありましたけれども、このとき、この期間の保健師としての役割といいますか、役目、そういった代わりになる何かその対応というのはされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 包括支援センターの設置のところで、主任ケアマネ、それから保健師とあと社会福祉士というのが3人いるというのが条件になっております。しかしながら、雇用の状況によっては途中で欠けることもあるというのは許されている部分になっております。その中で包括支援センターで保健師がいない時期があったのですが、幸い介護保険課のほうに保健師のほうに2名常駐しておりまして、何か相談事とかで足りないときには一緒に行ったりして活動させていただいておりますので、何とか以内時期についてはカバーできたのかなというふうに感じております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） この保健師の不在の主な考えられる要因というのは何かあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 暫時休憩よろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時53分 休憩

11時54分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 現在介護保険業界の中でなかなか人員不足という中で、その中でも特にこういう保健師さんですとか、資格を持っている方というのが見つけるのが、採用するのが難しいというふうになっております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、人員が不足した時期はありましたけれども、

いろいろな連携によってしっかりと対応はできたという、そういうことでよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 はい、そのとおりでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） お願いします。163ページの今のところですが、保健師等となっていますが、包括、実際にいる資格者は保健師でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 介護保険課長。

○介護保険課長 現在は保健師になっております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 了解しました。

164ページの在宅医療・介護連携相談窓口の件です。今年度もやっていますけれども、委託料の妥当性がこの件数だけだと確認できないので、説明お願いいたします。

暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

11時55分 休憩

11時58分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

介護保険課長。

○介護保険課長 こちらの金額足りないということは病院から伺っておりませんので、いろんな困難ケースございます。1件について何か月もかかるような場合もあるようですけれども、何とか仕事をこなしていただいているというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第4号に関する質疑を終わります。

これより認定第4号について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第4号に関する意見を終わります。

以上で介護保険課の質疑を終わります。

国保年金課（第1号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願いいたします。167ページ、3番、ご説明ありました年金生活者支給給付金が元年度上乘せでというご説明がありました。この27名というのは、これ対象者全員に当てはまる数字でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 はい、対象者全員に当てはまる数字です。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 了解いたしました。

次、178ページで、職員が広域連合のほうに1人派遣というご説明がありました。

この職員というのはどういった理由で派遣になったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 静岡県の市町全体で行っている事業体なものですから、各市町各1人と、規模的なものはあるのですけれども、裾野市は1名という形で2年に1度出しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 2年に1度ということで、これはある程度どこまで派遣というような期限といいますか、どこまでというのはあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 すみません。先ほどの答弁を訂正させていただきます。

1人2年という形で毎年出しております。申し訳ございません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、市の中の業務としては受付業務とかというお話があったのですけれども、十分派遣されている方と連携した形の業務はやられているということでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 連携を取りながらやっております。

（「よろしくお願います。」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） お願いします。167ページの5の年金事務所による年金相談ということで、どのような相談があるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時18分 休憩

13時18分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

国保年金課長。

○国保年金課長 遺族年金など、市の担当では難しい部分のものが多いです。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 30年度よりも増えてはいますが、その辺もそのような内容ということでよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 はい、そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 168ページでお願いします。繰出金のところですが、最初の表のトータル、支出済額が前年度に比べると約3,000万ほど低くなっていますけれども、その中で3番のその他一般会計繰出金が大きく減っていますけれども、この辺の原因はということでしょうか、理由は。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 国保特別会計の一般財源を充てたため、その他一般会計繰出金が減額いたしました。

委員長、暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時20分 休憩

13時21分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けいたします。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

す。

国保年金課（第2号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） お願いします。171ページで、9番の脳ドック、人間ドックのところで、元年度、脳ドックのほうが少ないというところがございます。何か要因があるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 毎年定員は200名という形でしておりまして、広報紙、広報無線等でお知らせ等は毎年しております。単純にそのとき、その年の人数が少ないという形になります。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、募集が200名ということで、さらに受けていただくという啓発的な動きというのはやったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 新しい試みというものはしておりません。広報、広報紙等だけです。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そうしますと、何か新しいことを考えるに、増えるということはやちょっと考えにくいと思うのですが、検討というところもしないということによってよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 やはり予算等もありまして、できるだけ多くはしたいと思っております。今後の検討課題だと思っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 予算というお話ありました。そうすると、募集を減らすとかという話になってしまいますので、ぜひ増えるようなことを検討お願いします。

10番行きます。10番は、キットを使ってということで行っているのですが、やはりこちらの利用者数もかなり案内通知に対して低いように感じます。こちらについて実績に対してどういう考えだったのかをお願いします。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 平成30年は32名、令和元年度は37名ということで、確かに人数的には低いような形になっております。広報活動というお話なのですけれども、令和元年度から県の研修を利用して広報の仕方のこつを教わったりしております。興味を引くようなお知らせを作成するよう、努力のほうしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、元年度なので、今年度、2年度的にはそういう動きを取

っているということによろしいですか。

- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 はい、そうです。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） よろしくお願いします。

では、172ページの11番で、電話健康相談のところ、こちらやはり29年度から見ましても半減以下という形で元年度なっております。件数も落ちておりますが、こちらのほうはどう受け止めていらっしゃるのでしょうか。

- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 国保の被保険者数も減っているというのは1つ原因かと思います。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） そういった中ではありますけれども、なくすというわけには当然いかならないと思いますが、今後どのような形で行おうという検討って元年度あったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 こちらのほうやはり件数は減っているのですけれども、やはり24時間ということでありますので、この部分に関しては継続的な事業としては考えております。

（「よろしくお願いします」の声あり）

- 委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。
土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 171ページのドックの関係です。先ほど委員から質疑出ましたけれども、たしかこれ人間ドックと脳ドックの受診のできる該当年齢が違うのでしたよね。

（「はい」の声あり）

- 委員（土屋秀明） では、年齢からまず。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 人間ドックは30歳から39歳です。脳ドックは30歳から74歳です。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） この表のところのどこかにその表記したほうが先ほどのように同じ該当年齢からすると受診率が大きく違うというように誤解されるつもりがあると思いますけれども、それは知って、ここは要望ですけれども、変えられるなら変えてお願いします。

169ページの1番の加入状況で、被保険者数が減っている、あるいは今後も減っていくだろうということでしたけれども、減っている理由というのは後期高齢者の保険に年齢でそちらのほうに保険が変わることによって減るという、そういう理由ですか。

- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 そちらも原因の一つだと思っております。あと国のほうから3人か5人以上の会社の部分は社会保険に加入してくださいという指導を受けているものですから、そういう部分も原因の一つだと思っております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 静岡県が保険者になってこれは2年目でしたか、3年度は。
（「はい、そうです」の声あり）
- 委員（土屋秀明） 一般の市民の個々に加入している人は特に被保険者が市から県に変わったというようなことで何か問い合わせだとか、あるいは反応はありましたか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 あまりそういった部分は私のほうは聞いておりません。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 変わってもう実績として出ていますけれども、市が行っている国保行政の中で、保険者が県に変わったことによって何か事業の内容としては変わっている部分というのがあるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 保険事業に関してはございませんが、県になったことで令和元年度に県と同様の賦課方式とか、そういうものを変えさせていただきました。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 中身としては事業の中身って大きく変わっていないということですが、2年前まで市が保険者にいたときと、元年度の決算の数字でいくと、数字そのものは県が保険者になったことによって決算額というのは増えているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 多少では少なくなっております。決算額は少なくなっております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ちょっと言い方変えますけれども、一般財源の額というのは、そうすると歳出の財源の中には少なくなっているという、その解釈していいでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 国保年金課長。
- 国保年金課長 はい、少なくはなっております。
- 委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。
三富委員。
- 委員（三富美代子） 調書の170ページの医療費の状況の表ですけれども、これを見ますと療養給付が件数は減少しておりますが、支払額が増えているということで、これは1件分の医療費が高額になっているという、そういう理解でよろしいでしょ

うか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 はい、そうです。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 同じく高額療養費につきましては、件数と支給額、両方とも増えておりますが、この増加傾向というのは見込みの範囲内の状況だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 人数は減っていますけれども、医療費は落ちてはいないものですから、医療費が増えるということはやはり高額療養費も増えるという形を見込んでおります。

（「はい、分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

賀茂委員。

○分科会外委員（加茂博美） お願いいたします。174ページなのですけれども、国庫支出金で社会保障・税番号制度システム整備費補助金121万入っていますけれども、事業としては具体的にどんなことをされたのですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

13時48分 休憩

13時48分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

国保年金課長。

○国保年金課長 システム整備補助金ということで、令和3年3月から始まるマイナンバーによる医療機関、薬局での受診が可能になるということで、被保険者番号を単位化、現行の単位番号に2桁追加するような形のシステムを入れました。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（加茂博美） では、被保険者の皆さんが実際に導入をされて使っていくのは令和3年3月からということで、今年度は特に影響はないということですか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 こちらのほうは国のほうがマイナンバーカードを使って令和3年3

月からできるようになるということの関係のシステム改修になります。

○委員長（杉山茂規） 賀茂委員。

○分科会外委員（加茂博美） 被保険者の皆様には何か周知とか、そういったものは何か取組をされたのですか、これからされるのかな、お願いします。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 特に保険証の今年度切替えのときではないのですけれども、窓口等でパンフレット等を置いております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会委員の質疑を終わります。

以上で認定第2号に関する質疑を終わります。

これより認定第2号について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第2号に関する意見を終わります。

国保年金課（第3号）

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

よろしいでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 調書179ページの保険料収納状況の中で、収入未済額が減少を前年度と比べて減少しているのですけれども、この何か令和元年度取組をされた結果ということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 滞納整理等で納めていただいたことが大きな原因かと思えます。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 同じく不納欠損額も前年度の状況と比べますと減少していますけれども、こちらのほうについてはいかがだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 こちらのほうは平成30年度よりは少なくはなっておりますが、その年度の不納欠損ということで、年度で見ているものですから、たまたま少なかったという形になります。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、国保年金課として特に何か特別に取組をしたからということではないということでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 国保年金課長。

○国保年金課長 平成28年度から滞納整理及び滞納処分を実施しております、年々そのスキルというものが上がっているものですから、少しずつ徴収率も収入未済額も少なくなっているような形になっております。

(「はい、分かりました」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑はありませんか。

増田委員。

○分科会外委員(増田祐二) すみません。今委員が質疑した点なのですけれども、非常にすばらしい結果だと思うのですが、これを他課に展開するというようなことは庁内協議はありましたでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 国保年金課長。

○国保年金課長 やはり税を持っている税務課との情報交換などはしております。

○委員長(杉山茂規) よろしいでしょうか。

(「いいです」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第3号に関する質疑を終わります。

これより認定第3号について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 分科会外委員の意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で認定第3号に関する意見を終わります。

以上で国保年金課の質疑を終わります。

障がい福祉課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

三富委員。

○委員（三富美代子） これは調書の192ページの相談事業の関係なのですが、こちらが令和元年度から相談支援事業所へ統合されたということで、そうしますとその後に出てくるナンバー7のところの、こちらの相談事業のほうに統合されたということでのいいのですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 ナンバー7でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時18分 休憩

14時19分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 統合されたことによって何か今まで相談を受けていた方々に特別そんな負担をかけるというようなことは生じなかったわけですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 前任の障害者相談員、この方たちに事前に今まで相談を受けた方々に告知をさせていただいた結果、大きな問題は発生しておりません。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、スムーズに事業をそのまま継続できたということの理解でよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 そのように捉えております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の197ページの11番のところなのですが、難病患者の介護家族等のリフレッシュ事業、これ見ますと例年大体1回ご利用なのかなという状況なのですが、このリフレッシュ事業を受けられる方の対象になる方々というのはどのくらいいらっしゃるのですか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 難病を持つ障害の方の家族ということになりますので、具体的に難病の管理につきましては県のほうの指定になっております。ですので、実数については把握しておりません。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

- 委員（三富美代子） そうしますと、この事業を受けたいと申請をされる方々は市に直接申請をされるわけではないのですか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 利用される方は市に申請というふうになっております。
- 委員長（杉山茂規） 三富委員。
- 委員（三富美代子） 対象世帯に関してはちょっと把握をされていらっしゃるということなのですか、そうするとこの事業の周知というのはどのようにされているのですか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 難病対象者につきまして、県のほうから通知される文書とともに、こういうサービスがあるという告知と、障害サービスを受けている方につきましては障害相談支援員が先ほどの相談支援事業所に配置されているわけなのですから、そちらの相談員のほうから告知をさせていただくような形になっております。
（「暫時休憩してください」の声あり）
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時22分 休憩

14時23分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開いたします。
ほかはいかがでしょうか。
浅田委員。
- 委員（浅田基行） すみません。194ページで、5の補装具費の支給事業ということで、③の給付額、この市単のところが元年で事業見直しによる廃止ということですが、元年度の金額というのは何人分の補助に当たったのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 38件になります。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 今後市単ということになるのですけれども、補助がなくなるよという告知といいますか、という部分では何かどういうふうにやるかというのは検討してされたのですか。
- 委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。
- 障がい福祉課長 補装具につきましても相談支援員がアドバイスをしながら購入、補修をしているところがございますので、相談支援員のほうからこういった制度がなくなりますよといったことの説明をするとともに、今後別の告知の仕方も検討していきたいというふうに考えております。
- 委員長（杉山茂規） 浅田委員。
- 委員（浅田基行） 市単という形ですけれども、うまくご説明のほうお願いしたい

と思います。

ごめんなさい。前のページに行きます。ちょっと確認だけです。自立支援給付の事業でございますが、これすみません、550件の目標、R2年目標という話でしたけれども、これたしか去年は1,000件という数で見直すというお話もあったと思うのですけれども、その辺で下げたことは悪いとはいいません。ちょっと理由だけお願いします。

(「休憩をお願いします。」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

14時25分 休憩

14時26分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 実際の給付決定件数を鑑みまして数値を変更させていただいております。

○委員長(杉山茂規) 浅田委員。

○委員(浅田基行) そうしますと、理由は分からなくもないのですが、R2年、今年度という、最初後期は今年度までという中で、どうなのでしょう、550件でもうその元年度では達成というよりは、ちょうど2年度で達成する目標を立てたほうがよかったように感じましたけれども、その辺の検討みたいところはなかったのでしょうか。

○委員長(杉山茂規) 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 見直しのときにはやはりこのくらいの伸びなのだろうといったところで設定して、それ以上の伸びがあったということになります。

(「分かりました」の声あり)

○委員長(杉山茂規) ほかはいかがでしょうか。

勝又委員。

○委員(勝又 豊) すみません。193ページで、重度訪問介護でもってゼロという数字があります。また、重度身体障害者住宅改造助成でも元年度ゼロということで…暫時休憩をお願いします。

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

14時27分 休憩

14時28分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開いたします。

勝又委員。

○委員(勝又 豊) それでは、重度身体障害者の利用が全体的に少ないような形に

見えるのですけれども、全体的に市内で何名いらっしゃるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 重度と呼ばれる方々につきましては、定義としまして身障手帳の1、2級、療育手帳のA、精神の1級を対象というふうに考えておりますけれども、この対象者につきましては333名おります。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） それ、どこかに記載されていますか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 こちら記載はございません。

（「分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） お願いします。193ページ、自立支援給付のグループホームの新設の利用が話ありましたけれども、グループホームの新設は何所だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 定員5名プラスサテライト2名ということになっております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 利用状況はいかがだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 現在のところ定員を満たしているというふうに報告を受けております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） グループホームのニーズ、必要量についてはどういう見解を持ったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 実は今年度につきましても新設されたグループホームがございます。そちらについても全て定員を満たしているところでございまして、まだ潜在的な需要があるというふうには考えております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 次です。195ページになるか、一般企業、一般事業者との就労に向けた交流みたいな事業、もしくは行事というのはなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 こちらにつきましては、197ページの12の①及び②です。障害者ス

ポーツ教室及び一般就労支援事業カラマの会を開催しております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） ちょっと趣旨が違っていて、受入れ側となる事業者、事業所、企業などとの交流の機会はありませんでしたか。

暫時休憩願います。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時31分 休憩

14時32分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 昨年特定子会社等を対象としまして、また本人及び家族などを対象にしました企業と語ろうという事業を開催しております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） それに参加された事業所だとか団体としての感想はいかがだったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 そのときアンケートを取らせていただいたのですが、実際に就労に対する家族の支援の仕方であるとか、向かい方、そしてどういう状況で就労しているのか、どういう形で働いているのかというところが具体的に見えて非常に安心したという声も聞いております。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 行政としてはそういった機会についてはどういうふうな評価をされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 大変効果のある事業で、今後も続けていきたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） お願いします。196ページの3番の②です。2市1町で市は奉仕員の養成講座やっています。負担金で11万出していますけれども、この中で市民、裾野市民がこの講座に参加した人数は何人でしょうか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 平成元年度につきましては、残念ながらゼロ名ということになっております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 参加者ゼロでこの負担金がある、そこはどう考えられ

ますか。

○委員長（杉山茂規） 障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 これまで2市1町、開催に向けての共通の要綱を設けまして、その要綱に従いまして負担金を人口割等でお出しさせていただいております。昨年度、元年度につきましてはゼロ名というふうにありましたけれども、こちらにつきましては2年度をもって1パッケージとなっております。平成30年度につきましては参加者はいらっしやったのですけれども、その修了者が継続的に受けなかった結果、ゼロになってしまいました。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） ゼロであってもこれを続ける大切さは分かります。この制度を続けている中で令和元年度、市は奉仕員を養成しているのですけれども、奉仕員は今裾野では何名いらっしやるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

14時34分 休憩

14時34分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

障がい福祉課長。

○障がい福祉課長 現在登録している奉仕員につきましては4名です。

（「はい、分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で障がい福祉課の質疑を終わります。

保育課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） よろしくお願ひします。制度改正が行われていろいろな体制も変わっていく中で、保育の質というのが保たれるかというのが大変大事ではないかなと思うのですけれども、210ページの17で研修がありまして、全体研修でそのことについて講演があったようなのですけれども、その辺の内容というのは把握していますでしょうか。

（「暫時休憩でお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時00分 休憩

15時00分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援監。

○子育て支援監 こちらで保育の質というような内容となっておりますけれども、その下にも書いてあるとおり別の先生も講演しているとおあり、かなり今は保育が多様化してきているというような中でいかに対応していくかというような中で、基本的には職員のスキルアップ、そういったことを求めていくというような内容になっております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 園との話合いみたいなことあると思うのですけれども、その中でちょっと今回の制度改正で混乱したとか、何か意見等ありましたでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 あくまでも国が実施した制度の改正ということで、直接園のほうの運営に対してどうこうというのは特にはなかったかなと思います。強いて挙げれば副食費、給食代が別途徴収という形になったということが大きな変更かなと、それ以外には大きな変更はなかったものと思っております。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 休憩でお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時02分 休憩

15時02分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援監。

○子育て支援監 現場サイドにおいては大きな混乱は生じておりません。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしくお願ひします。205ページから206ページにかけてですけれども、元年度ですか、子ども・子育て会議等、回数も増やしてやられたということでお伺ひいたします。令和2年3月というような年度末に行われています、特に3番のところでは委託業務をやられた中でパブリックコメント等でやられています。まとめられたと思うのですけれども、その結果についてお伺ひいたします。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時03分 休憩

15時04分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援監。

○子育て支援監 調べて、後ほど回答させていただきたいと思ひます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） では、すみません、4番でも元年度は施設整備基本構想ということで改訂版を提示されました。提示されるまではいろいろ会議やったと思うのですけれども、この幼児システムの業務、5のところでは、改修委託というところ、これはかなり金額委託料高いのですけれども、こういったようなシステム改修だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 こちらは、従前の保育料算定のシステムを全て無償化にするという、全てシステムの内容を無償化という形に変更したという形になります。ちなみにこちらのほうの金額については全額県費補助での対応という形になっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 無償化のシステムですね。そうしますと、これをやるに当たって事務処理等とかであったのですけれども、特に無償化に向けてのトラブル等はなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 特段大きなトラブル等は発生はしておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 10月からやられたということでもかなり職員の負荷とかも大変だったような想像がつくのですけれども、まだ課題的、解決されていないような事業とかもありますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 今のところ特段大きな残務といったような形のものには残っておりま

せん。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） ごめんなさい。ちょっと戻りまして4番の、ごめんなさい、ちょっと。基本構想の改定のところについての作成について、これは一応示しはされましたけれども、この辺の示されたことに対しての今後についてということは元年度検討ってされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 こちらはあくまでも基本構想という形で、今年度からは個別計画を作成しながら粛々と進めていくということが求められているという形になっております。

（「了解しました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 207ページの3,000万円の不用額ですけれども、不用額の内容はいかがでしょうか。

（「ちょっと暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時07分 休憩

15時07分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援監。

○子育て支援監 こちらのほう、主には補助金等の残が大半となっております。年度途中での制度改正となっておりますものですから、最後の最後確定するまでの間、補助金等の額が確定しないと、未確定案件がございましたので、そういったものを年度末まで残したという形になります。9月までは補助金で執行していたものがその後給付に変わるといったような形になりましたので、9月分までの精算というのが年度末までであったというような中で補助金等の残りが多かったという形になります。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 211ページの幼稚園の不用額も同様の原因でしょうか、理由は。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 ほぼ同様な内容となっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 205から206ですけれども、ちょっと休憩をお願いします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時09分 休憩

15時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） 前年度は消費税の改定に合わせて無償化がスタートしたわけですが、それに移行する間に国からのいろんな情報が入りにくかった、そのようなことを含めて、今考えてみて国側に何か地方行政として求めるようなことを今後のことも含めて、何かないのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 例えばですと206ページのこのシステム改修を見ていただきますと、令和元年の8月からということではほぼ本当に直前になってからシステム改修をやっているという形が分かるかと思います。そうした形で確かに国からの情報提供がかなりぎりぎりだったということで、前のページの人件費なんかを見ていただいても時間外等でかなり職員人件費も大幅に増加、残業等で対応したという形になっております。そういった中で、やはりこちらとしては地方としては早めの情報提供というもの、あと制度の確定、そういったものを急いでいただきたいかなというふうに個人的には思っております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 最終は公立の幼保については自費でというようなことで、私立については国からのと大きく分類をされたのですけれども、その後スタートした以降で国に対して公立園の費用の財源も国が持つべきだというような意思表示をするような機会というのはあったのですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 現段階ではありません。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 民営化をしている割合によって市町で、ですから直接自分たちの費用をどれだけ公費、財源を使うかという割合が変わってきているのですけれども、今後については裾野市も当然民間にという考え方の幼児施設の整備等も含めてあるのでしょうかけれども、直接求めるというのは市長会等でそういうことを求めるという考え方はないのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時12分 休憩

15時12分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援監。

○子育て支援監 公立の保育園の運営費については、確かに全額自己負担という形に

なっておりますけれども、それとは別で交付税の基礎数値、そういったところでの算入というような形である程度の負担を見ているよというような形が国からは示されております。そういった中でそういったものを今後要望していくのかといったような問題のほかに、保育現場として抱えている問題にあとは保育士の慢性的な人材不足、そういった問題もございますので、どの部分が喫緊の課題なのかというようなものをもう一度ちょっと見直してからそういった要望の機会を捉えて要望はしていきたいというふうに考えております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 休憩で。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時13分 休憩

15時14分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） 207ページになります。保育所別児童数の状況ということで表がありますけれども、御宿台、またさくら保育園、富岳キッズあいは定員よりもオーバーしているというような状況ですけれども、その点についてどのように考えていますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 私立の保育園について定員を超過しているという状況についてはこちらでも認識しております。一番大きな問題としては、こちらにあるようにゼロから2歳児、こちらに対しての受け、特に御宿台なんかを見ていただきますと、ゼロ・2の受入れが非常に多いという形になっているかと思えます。実際待機児童、そういったものの分析をしていく中でもゼロ・2対策というものが急務かなというような中で、どうしても公立ですと保育士の数、そういったところが限られているというような中で、どうしても民間の保育園にお願いせざるを得ないというのが実情となっております。ですので、十分に認識はしております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） 今の答弁ですとゼロ～2歳の園児が多いということで、その辺の先生の園児に対しての先生の数というのは、その辺はやりくりでやっているという考えでよろしいでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 ゼロ歳児については3名に1人、1、2歳児については6名に1人という法定の割合が決まっているというような中で、受入れをするといったときにはどうしても保育士の数からそちらのほうの受入れができるかどうかということ

考えてしまいますので、ちょっとそこら辺は承知をしながら対応しているところでございます。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか
岩井委員。

○委員（岩井良枝） すみません。200ページ、職員の数のところで伺います。職員数、臨時職員数で保育士さんの数はそれぞれ何人ですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 この臨時職員55名というのは全て現場サイドの保育士となっております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 正規の職員さんについてはどうでしたか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 職員34名は全て保育園の保育士という形になっております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 幼稚園のほうでも教諭について教えていただいていたいいですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 幼稚園のほうについての職員24名についても全て幼稚園教諭という形になっておりますけれども、今現在は将来のこども園化に向けて幼保の人事交流等をやっておりますので、両方の資格を持っている方については双方に行き来しながら実務に携わっていただいているといった形になっております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） この人数は、今まだ足りない状況にあると思うのですが、その足りない人数というのはどのぐらいになっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 一概にそれぞれの子供たちの状況に応じて加配の要、不要、そういったもので必要人数というのはどうしても一概には言えませんけれども、今ちょっと手元に統計資料ないものですから、正確に何人という数字も言うことはできませんけれども、基本的には法定の数を超えていますけれども、実際満足できる数字ではないという状況が慢性化しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 保育園の先生たちで加配をされていると思うのですが、手をかけてあげなければいけない子供たちとか、お互いに保育士を1人加配をしなければいけないような形になったときにもその子供たちに対応できる保育士さんは確保ができていくということよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時19分 休憩

15時21分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援監。

○子育て支援監 保育園の入園調整につきましては、本人、保護者の希望そういったものも考慮しながら調整をしているという状態で、必ずしも私立のほうがそういった加配を必要とする子を受け入れていないかということ、そちらのほうでも対応していただいているという状態になっております。ですので、現状ですとどの園で受け入れられるかというようなそれぞれのまだまだ供給体制の余力を見ながら保護者のニーズを加味しながら園を決定していくという形になってはおります。

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の210ページの16番、特別支援教育推進事業のところですが、障がい福祉課、また家庭児童相談室、健康推進課、学校教育課との連携ということなのですけれども、具体的にどのように令和元年度は取り組まれたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 こちらの関係課等とは基本的にはある程度ちょっと発達等に障害がある子供、そういった子供たちの情報共有ということで、こちらのほうの相談員については各園に巡回をしておりますので、そういったところで巡回の結果、そういったものを共有しながらそれぞれの課と調整して対応をしているという状態になっております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） 同じところに放課後児童室の指導員さんへの配慮事項の連絡という記載があるのですけれども、ここは東小は載っているのですけれども、それ以外のところはどうされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 基本的に放課後児童室等にちょっと注意するような事項がございましたら、そういったものについては教育総務を通じて情報提供をしているというような中で、特にこれ去年もあったかと思えますけれども、特に問題を要すると、ちょっと注意が必要だよといったようなものについては具体的に放課後児童室のほうに情報提供するというような形で対応しているという形になっております。

（「暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時24分 休憩

15時25分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

ほかはいかがでしょうか。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 208ページの休日保育でお伺いします。富岳台がやらなくなった、停止ということで3つの園になったのですけれども、元年度は非常に多く休日保育というの人数が多くなっています。こちらは休日に対して何か対策するような検討というのは行ったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 特段やっていないというか、富岳台が事業を停止したというのは事業を集約化させるということで、この中でも富岳関連ですと2園、富岳南と富岳のキッズあいのほうをやっているよというような形で、関係する園児についてはこちらのほうを利用するよというように形でそちらのほうへの移行を促したといったような形以外には特段何か対応したということはありません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 多くなったことに対する対応という、この人数3つの園というところまだ余力はあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 すみません。先ほどのでちょっと付け加えて説明をさせていただきますと、昨年一番多かったというのが10連休があったと、その連休利用が多かったということがあろうかなというふうに思っております。

それから、受入れについてもまだまだ余力はあるという形にはなっております。

（「了解しました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはよろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

中村委員。

○分科会外委員（中村純也） お願いします。事務局としては健康推進課の分野になるのですけれども、子育て世代包括支援センターでは子育て支援監はどんな役割を担ったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 包括支援センターの中では昨年までは支援監がそういった対応の調整をするという形を行っておりました。

○委員長（杉山茂規） 中村委員。

○分科会外委員（中村純也） 包括支援センターの中で令和元年度に支援プランというのを10世帯分作成をしているのですけれども、それは子育て支援監もその作成というものを推進をしていくという、そういった指示があったのでしょうか。

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時28分 休憩

15時29分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援監。

○子育て支援監 こちらからの特段の指示はございませんでした。

○委員長（杉山茂規） ほかは。

内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） すみません。207ページでお願いいたします。ゼロ歳～2歳児対策でさくら分園、キッズあい、それからひだまりまで113人の子供が対応してもらっているのですけれども、この子たちは3歳の壁といたしますか、2歳が終わったら定員不安だとか、そういうものはこの元年度の児童施設整備基本構想の中でどんなふうな議論がされたのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 こちらのほうのゼロ・2対応ということでございますけれども、元年度前ページの206のほうにありますこの子ども・子育て支援事業計画、この3のほう、こちらのほうで保育・教育の需要予測と教育・保育の供給体制という形の中で小規模保育所を含めて全体としてそういう供給体制があるかどうかというような形を自然体の中で検討しております。そういった中では特に問題はないと、現段階では問題はないよという形になってはおります。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 現段階では問題はないということでした。ちょっと数字上で見るのですけれども、例えばさくら分園、それからキッズあいのゼロ～2歳児がその上に進むとしても、それぞれさくらにしても富岳にしても定員以上の人がいて、だからこの子たちは同じ環境でそのまま転園せずに受けることが、この子たちは一旦退園するのですよね、元年度はどのような対応で乗り切っているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監。

○子育て支援監 基本的に一度ゼロ・2で小規模等は退園という形で、その後という形になりますけれども、そちらについては今年の6月議会でも小規模事業所、そういったところの条例改正、そういった中で市が需要と供給の調整をしながらそういった方々の3歳以降の入園を調整しながら対応をするというような形でやっておりますので、実際そういったところで調整ができていくものかというふうに思っています。ですので、ここでいくと小規模、こういったところについてもある程度連携園なんかを確立しながら、そういったところへの入園などの調整をしながら移行させていくということを今現在やっております。

○委員長（杉山茂規） 内藤委員。

○分科会外委員（内藤法子） 確認ですけれども、そういうもし当事者、私が当事者になると母親ってすごく不安なのですけれども、ちゃんとエスカレート式にちゃんと預かってもらえるのと不安を抱えるの、これは抽せんか何かで分かれるのですか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

15時32分 休憩

15時33分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援監。

○子育て支援監 1つ目が、まず3歳になるとそれまで2歳児までは6人に1人の保育士というのが、3歳以降は20人に1人ということで、ここで一度枠が大きく広がります。そういった中で、まずそのまま上がるといったようなことには対応しています。

それから、もう一つ、どうしてもゼロ・2とかで入ってきたときに次の年そのままエスカレーターで上がれるというわけではなくて、どうしてもそこで入園調整というものの中では転園してってしまう子供もいるかもしれないけれども、あくまでも市全体の供給体制の中では受入れができるよという状態だけは確保をしているという形で対応しております。

（「終わります」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で分科会外委員の質疑を終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で保育課の質疑を終わります。

保育課（答弁漏れ）

○委員長（杉山茂規） まず初めに、子育て支援監より発言の申し出がありますので、これを許します。

子育て支援監。

○子育て支援監 先ほどの子ども・子育て支援事業計画に対するパブコメの内容という件でございますけれども、こちらについては特に計画の内容についてというより

も、むしろ情報提供の仕方、その他施設の子育て支援施設、そういったものの要望、そういったものの内容となっております。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援監の説明は終わりました。

委員の皆様、よろしいでしょうか。

以上で発言の申し出についてを終わりとします。

子育て支援課

○委員長（杉山茂規） 説明は終わりました。質疑に入ります。

浅田委員。

○委員（浅田基行） よろしく申し上げます。まず最初、198ページ、第4次の目標のところでございます。32年度までという目標に対して、これ残念なことに27年のところから元年度まででもう減少傾向で、非常に今の少子化的に行くと目標難しいと思っております。ただ、やれることと申しますか、減少幅をどれだけ抑えられるかという方向かなと想像しますけれども、その辺の目標みたいなところをどうふうにお考えになっているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらの目標、減少幅をなるべく抑えるということは委員さんおっしゃるとおりでございます。ただ、これから生まれてくる子供たちということを考えますと、その親の世代の人数がここへきて大分減っておりますので、世代的に。ですので、もう拡大することはもうかなり難しい、ほぼ不可能である。そして、とどめることにつきましてもかなり課題はたくさんあるなというのは認識しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 今の先ほどおっしゃられて、とどめるというところもそうですがけれども、受け入れると申しますか、若い世帯とかを何とか受け入れるようなところも大事だと思っておりますけれども、そこら辺はどうでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 ちょっと暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時00分 休憩

16時00分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 人口関係につきましては、企画サイドのほうで政策を実施していただいております。それを横から給付という面で我々の課のほうはやっていくつもりでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 了解しました。そういった連携を取りつつ、減少をなるべく抑えられるよう活動をお願いします。

次、200ページをお願いします。4番、みんなで子育てするまちを長泉町と連携して行っている事業でございますけれども、元年度11月22日の文化センター、非常に参加人数が多く開催されて、大幅に多い人数でできたかと思っております。それについて

てどういうやり方をしてこういう人数が増えたのでしょうか。どんな工夫したのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては、県と共催で行ったということ、それとあともう一つがこういった事業が根づいてきて、皆さんの周知も深まったのではないかと
いうようなところで分析しております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） この事業ですけれども、間違いであったらあれなのですが、この事業というのは1回見直す、もしくはちょっと廃止するような話があったように感じていますけれども、この事業は今後どのようにするかという検討ってあったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては補助金自体は今年でおしまいになるという、昨年でおしまいになるということで、今年からは市単でということになります。当年についてはコロナの関係で事業、長泉町と話をしまして中止ということになっております。来年度以降については引き続き継続協議でございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その件、継続ということで了解いたしました。

（「継続協議」の声あり）

○委員（浅田基行） 継続協議ということで了解しました。

ファミリー・サポート・センターのところ、5番のところ行きます。会員は幽霊会員といいますか、使われていない会員は見直したということで減少のことは分かりました。

活動状況ですけれども、やはりかなりの件数減っておりますが、多くなったり少なくなったりがあって、トータルで減っておりますが、この辺の活動状況についてはどう捉えておりますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 まず、活動の内訳については、1人の方が結構多数使うという傾向がございますので、ヘビーユーザーの方がその年使ったり使わなかったりということでもって傾向というのは変わってくると思います。あと件数的に総数でありますけれども、減少しておりますのが昨年の10月から実施された幼児教育・保育の無償化、こちらで私立幼稚園をはじめとした幼稚園の預かり保育のほうが利用しやすくなったということが原因にあるのかなというようなどころでは思っております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 了解です。無償化の影響でよくなったということが分かりました。

次、6のアプリサービスの利用ということで随意契約で組まれています。これは

こういったサービスの利用料になるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 暫時休憩。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時05分 休憩

16時05分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては、まだ市内で行われる子育て関連の行事であるとか、あと給付金の関係のご案内などが主なものとなっております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） そのサービスの利用状況というのは把握ってできるものなのですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては登録者数とアクセス回数、たしかアクセス回数だと思いましたが、そういった数字が送られてきます。ただ、今はそういった数字今持ち合わせておりませんので、回答を差し控えさせていただきます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） それで、次のページ行きます。201ページの1の相談内容別の件数で、相談員が3名でやられているということです。こちらもう元年度減っておりますけれども、いいことだと思いますけれども、この減っている理由というのはどういうふうに捉えておられますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 減っている分析についてはちょっと内容はしてございません。おむねこのぐらいというか、すみません、ちょっと暫時休憩してください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時06分 休憩

16時06分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては、30年度がちょっと多めであったということでありますので、例年並みに戻ってきたのかなというところでございます。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 確認といいますか、健康推進課でやっています包括支援センターという連携の取り込みというところもスタートさせたように聞いたのですけれど

も、そういった形の活動、横の連携の活動というのはされていなかったでしたっけ。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 包括支援センターの中に組織として子育て支援課が入っておりますし、その子育て支援課の配下に家庭児童相談室が入っておりますので、当然連携をしながらの活動展開をしております。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） その辺のところの取組で強化されたのかなということで、ちょっと質疑させてもらいます。そういったことではないのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 間接的、多面的に見るとそういったことはあるかとは思いますが。それが直接即効的に効いたかどうかというところはちょっと確認できておりません。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 最後、すみません、203ページお願いします。8番の裾野に母親クラブ3つございます。これが元年度非常にメンバーも増えたかと思いますが、補助金のところがちょっと気になってご質疑します。3つにとって補助金にかなり差があるのですけれども、これは何か理由があるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては活動の内容というところでのものになります。最後に精算かけますので、実際に使った費用、そういったものも含めて精算しますので、お金がかからないような事業を実施した団体さんは当然のことながら小さな補助金になってきています。

○委員長（杉山茂規） 浅田委員。

○委員（浅田基行） 上限って設けているのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時09分 休憩

16時09分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 上限1団体10万円ということになっております。

（「了解しました。以上です」の声あり）

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

土屋委員。

○委員（土屋秀明） まず、198ページの3,800万円の不用額の理由はどういうことでしょうか。

（「もう一度、すみません」の声あり）

- 委員（土屋秀明） 198ページの3,845万3,061円の不用額は何が原因で発生したのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 こちらについては医療費、それから給付のほうがあります。特に医療費につきましては増減幅が大きいので、3月、決算終わるまでちょっと見通しが取れないということで残しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 同ページの児童手当の支給状況あります。支給対象に該当しているのだけれども、結果的には支給しなかったという、そういうケースってあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 中にはあるということは認識しております。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） それは、支給を拒否をしているということですか、また別の理由なののでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 毎年現在の状況が正しいかどうかという現況届を提出していただいております。そちらが未届とかになっている場合については支給を差し止めている場合がございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） 家庭内ではDVだとか、父親からの子供だとか、母親の、虐待のケースがありますけれども、そういうようなことでそれに対策をしているような家庭というのはこの中にも何件かあるのでしょうか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 当然でございます。
- 委員長（杉山茂規） 土屋委員。
- 委員（土屋秀明） ほぼどのぐらいの数ってあるのですか。
- 委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。
- 子育て支援課長 暫時休憩いたします。
- 委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時11分 休憩

16時12分 再開

- 委員長（杉山茂規） 再開します。
子育て支援課長。
- 子育て支援課長 大ざっぱな数で申し上げます。おおむね100名程度のお子様、ですので家庭数にするともうちょっと少なくなると思いますけれども、そうした数字

で把握してございます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） ありがとうございます。

201ページの相談内容ですけれども、先ほどちょっと委員のほうからも出ましたが、この中に非常に大きいウエイトの家庭環境のうち虐待とありますけれども、この内容については大ざっぱにいうと、中身をちょっと教えていただけますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 虐待というところの中にはいわゆる旧来から認識されている身体的虐待のほかに精神的虐待、いわゆる言葉の暴力、そういったものも含まれております。比率がどうかという話になりますと、ちょっと資料を見直さないといけないと思いますので、ちょっとここでは控えさせていただきます。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） 相談を受けたほうとしては、次にどのような対策をしたのかとかいう具体的なものというのは幾つかあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 内容1件1件に対しては記録を残しまして、課内それから相談室の中で話し合いをし、そして対応をしていく、場合によっては先ほど包括支援のほうにも情報共有するというようなところとなっております。

○委員長（杉山茂規） 土屋委員。

○委員（土屋秀明） その下に2番に施設入所の措置の児童の数字がありますけれども、これに結びついているようなケースというのものもあるのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 暫時休憩いたします。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時14分 休憩

16時14分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 ケースによって家庭が引き取りをしない場合とかということもございまして。その際にはこうした入所措置というところに行き着く場合もございまして。

○委員長（杉山茂規） ほかはいかがでしょうか。

岩井委員。

○委員（岩井良枝） 200ページ、ファミリー・サポート・センターの件でお伺いします。先ほど意向調査をされたらば、幽霊会員さんみたいな方が多かったということなのですけれども……暫時休憩してください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時15分 休憩

16時15分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開いたします。

岩井委員。

○委員（岩井良枝） すみません。提供会員さんなんか随分減っていますけれども、その大きな要因となっているのは何だったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては、もう何年も意向調査というのをやっていなかったもので、1回登録した方はずっと登録されていたというようなものが背景にあると聞いていますので、登録して以降一回も整理していなかったというところがございます。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 市のほうに直営になる前から登録されていた方たちということによろしいのですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 そのとおりです。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 現実としてこの事業というのも大事な事業で補助金が出たりもしているのですが、この先直営としてどのように運営をしていきたいと思っていच्छいますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 直営でやっていく上では直営で十分であると思っております。先ほども申し上げましたとおり、社会のニーズというものも変わってきておりますので、従来どおりの利用者があるとは私どもも思っておりませんので、これはこれで一つの社会の世の中の流れの結果の数字であると認識しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） もう一回だけお聞きします。その以前に登録した方がもう一回いいですよと、ちゃんと分かって、そうでしたねという形でやりましょうかという方というのは出てこなかったのでしょうか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 そこから、実はやりませんと言った方を引いたのがこの数ですので、そこからもう一度お願いしますとこちらからはちょっとアプローチはしてございません。

○委員長（杉山茂規） 勝又委員。

○委員（勝又 豊） すみません。204ページの母子家庭自立支援給付金、ここで3名の方がこの事業を行っているということで、この方はその後就職等につながったの

でしょうか。高等職業訓練促進給付金。

(「すみません。もう一回、ページ数は」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

16時18分 休憩

16時18分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開します。

子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらの3名につきましては現在給付中の方になります。修了した方については報告としてそういう仕事に就いた方もいらっしゃるとは聞いておりますけれども、深いところまでは追跡調査は行ってございません。

○委員長(杉山茂規) 勝又委員。

○委員(勝又 豊) 現在も給付されているということですか、2年度。

○委員長(杉山茂規) 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらの方々については、昨年度給付された方の人数で、1人については保育士、もう一人は社会福祉士、看護師、こういったお仕事を目指しているということでもあります。

(「ちょっと休憩をお願いします」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 暫時休憩します。

16時19分 休憩

16時20分 再開

○委員長(杉山茂規) 再開します。

ほかはよろしい……

岩井委員。

○委員(岩井良枝) 先ほどと同じページなのですが、200ページの6番、子育てアプリ事業なのですが、これサービスの利用料ということになっているのですけれども、このアプリを運営しているのは市だということではないですか。

○委員長(杉山茂規) 子育て支援課長。

○子育て支援課長 アプリのプラットフォームについては民間企業が開発したものを上乗っけて市が利用しているという形式になります。

○委員長(杉山茂規) 岩井委員。

○委員(岩井良枝) そうしますと、それを使う場合に情報などはそちらに委託をして乗っけてもらうという形になっていますか。

○委員長(杉山茂規) 子育て支援課長。

○子育て支援課長 情報更新については、裾野市からデータを送り込んでやっていただくという形になります。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） いろんな情報を出していただいていると思うのです。先ほど利用者とか、そういうところの把握がちょっと曖昧だったみたいなのですけれども、その辺ってもっと使っていただくということではホームページなんかにもあるのですが、その辺どうやってもっと使っていただくかということは考えていらっしゃいますか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 数字、利用者についての動向が曖昧というご発言だったのですが、そうではなく、今数字を持っていないだけでございますので、すみません。中身につきましては、月2度ぐらいのこういった情報をこういった人数の方が見ているかというのは数値は出ております。

あと広報の仕方というお話だったのですけれども、こちらについてはいろんな媒体でチラシも今残りがあるかどうか分かりませんが、そういったものを含めてやってございますので、いろんな面で広報はやっているつもりではあります。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 数字持っていらっしゃらないということなのですが、感覚的にかなり広がっているなという感覚を持っていらっしゃるということでよろしいですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 そもそも裾野市に限った情報であって、さらに情報の内容が子育て世代に限定するものでありますので、市内でそういったご家庭、親御さん含めてあまり多くはないという認識であります。ただ、その中であって相当数の利用者がいるということでは認識しております。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 暫時休憩してください。

○委員長（杉山茂規） 暫時休憩します。

16時23分 休憩

16時24分 再開

○委員長（杉山茂規） 再開します。

三富委員。

○委員（三富美代子） 調書の201ページです。5番の要保護児童対策地域協議会のことについて記載があります。令和元年度、児童虐待防止の推進、どのように推進をされたかということをお願いします。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 こちらについては、もうPRをするというところに重点を置くように形になっておりますので、第2回、第3回で、第3回のところで地域講演会と

いうのを実施しております、関係の方などにお声がけさせていただいて講演聞いていただく。あと11月には虐待防止の推進月間ということがありますので、街頭キャンペーンを行ったりとかということで行っております。

○委員長（杉山茂規） 三富委員。

○委員（三富美代子） そうしますと、そうしたPRに一番力を入れられているというお話でしたけれども、虐待防止そのものの例えば事例についての報告ですとかというのは、その協議会の中ではされないのですか。

○委員長（杉山茂規） 子育て支援課長。

○子育て支援課長 日々我々のケース会議やっております。そこの中での話というのは協議会の中で話題には上がりますので、そういった意味では報告されているというような認識でいただきたいと思います。

（「はい、分かりました」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で委員の質疑を終わります。

分科会外委員の質疑をお受けします。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 終わります。

以上で認定第1号のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより認定第1号のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 分科会外委員の意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（杉山茂規） 以上で認定第1号のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で子育て支援課の質疑を終わります。

以上で健康福祉部関係の質疑を終わります。

以上で予算決算委員会厚生文教分科会に割り振られました議案の質疑を終了いたします。

自由討議

○委員長（杉山茂規） ただいまから自由討議を実施いたします。

委員の皆様申し上げます。発言は一人ずつマイクを使用し、委員長の指名により発言していただきますようよろしくお願いいたします。

浅田委員。

○委員（浅田基行） 今回決算ということですが、まずは、2日間大変圧縮といいますか、かなり詰めてやって、やってできなかなという印象ではありますけれども、やはりちょっと時間との絡み、あと内容との絡みを考えたときに、ちょっと駆け足感があつたかなという印象がありました。

あと決算に対してでちょっと感じたところは、ちょっと我々の予算のときにもう既にした後の決算ということもあってなのですけれども、やはり行政改革的に要は事業見直したことというのが、当然予算のときには載っていなかったりとか、決算になってなくなっているという、これ僕の個人的かもしれませんが、市単独をいろいろ見直したというのは頭にある中で、こういう事業もなくなったのかという印象はやっぱりあつたものですから、やはり行財政構造改革的の何やったかというのは予算ではもう映ってこないもので、減額とかはいいのですけれども、もう削除したやつはもう予算では出てこないものですから、そういったものというのが分かるような形で我々にも見せていただいて、そこらも含めてというのがあればもうちょっと理解もしつつ審査ができたかなというのを感じました。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

勝又委員。

○委員（勝又 豊） お疲れさまでした。事業に対して行政側が振り向く、振り向いて検証するということがちょっと必要ではないのかなということを感じたのですけれども、プレミアム付商品券に関して、やはり分析が十分されていないのではないかと。20%のプレミアム率が妥当だったかどうかとか、今回50%のプレミアム率というような形でそこへつながっていく内容なので、PRの問題なのか、プレミアム率の問題なのか、いろんな情報を集めて分析をしていってほしかったなど。保育の無償化についてもやはりばたばた、ばたばた行ってしまったのですけれども、それをまたどうだったのかなという検証というのもすべきではないのかなということを感じました。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

土屋委員、お願いします。

○委員（土屋秀明） 2日間、明日は予備日になっているのですけれども、いろいろの考え方あると思いますけれども、裾野市の会期の長さとは、例えば三島なんかに比べてもはるかに長いのです。後から開会をしてもう既に閉会をしているところがありますから。あとはやり方だと思います。ですから、初めから2日間ですとやるといふことでやれば、今回のようにそれはできるのではないかなというふうに思います。

それなりに聞くべきところは聞くところは初めから焦点を絞っておくべきかなというふうに思いました。自分も全然下調べもしてこなかったものですから、もちろんそれは反省ですけれども、2日間というのはそういうことで、今後もこの方法でいったほうがいいのかと思います。

それから、決算は予算化してあるものが予算の計上どおりに執行されたかということが第一だと思いますから、不用額が残るということは目的を果たしていないという、そういうふうな考え方もありますから、その辺は私はしつこく聞くべきかなというふうに思います。

それともう一つは、予算を執行したことによって市民にとってどういう効果があったかということが着眼点です。聞くべきことだというふうに思います。ですから、内容についてどういうことだったのでしょうかというのを聞くのというのは、ちょっと聞き方としてはあまりよくないというふうに思います。

今もちょっと出ましたけれども、ちょうど当委員会の教育部と、それから健康福祉部、両方とも昨年度は非常にきつい年だったと思います。きついというのは、国の方針の変化に伴ってやらざるを得ない中で、自分たちの考え方とか主導でできなくて、それに合わせてやらざるを得なかったということの中で、特に教育の総務、教育総務課は大変な年だったというふうに思いますし、今日もやりました保育課の無償関係、これらについても当局も大変だったと思いますけれども、今度逆に議会側とすると補正予算等の審議の中で十分なところまでは頭の中で理解できない中で行かざるを得なかったというようなところもあります。ですから、当局のほうにどのようなことが反省点として、あるいは国に求めるものはあるかということ、逆にいうと議会側としてもそういうところが言えると思います。

全体からすると一部の課長は非常に答弁がうまくない。議員側の質疑に対して質疑の内容の何の趣旨でしているかということをもう少し理解していれば答弁というのは変わってきたと思うのだけれど、白か黒かというような答弁で、うまくないというのは私の表現がうまくないのでしょうけれども、こちらのほうとしては納得しにくいようなところというのは、恐らく課の課員というのはもっと違う考え方でやっていたと思います。それを管理職の答えてイコール同じようにはいかないと思いますから、その辺が少し管理職としてはどうかというところがありました。

全体に決算の認定ですから、先ほどありました2つの部のようないろんな変化が激しい中であってもそれに何とか合わせるような形でやったと思いますから、私は決算そのものは評価できるのだというふうに思います。

以上です。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

では、三富委員、お願いします。

○委員（三富美代子） 委員会の決算審査で2日間で行うということが今回今までにない取組でしたので、途中ちょっとどうかという部分もありましたけれども、何

とか2日間で審査ができたということですので、こちら側のやはり質疑のやり方をもっとスムーズに質疑と答弁がうまくかみ合うように持っていければ、さらにその辺が充実できるのではないかなというふうに感じましたので、この委員会の審査の2日間で言うという、そういうことはこのまま継続できればいいことかなというふうに思っています。

個人的にはちょっと監査委員という立場もありましたものですから、決算審査はあまり質疑はしないという気持ちでおりまして、皆さんの最後にちょっと1つ2つお聞きしたというようなことでやらせていただきました。できれば本当に決算なので、その1年間通したその事業の取組によってどういう効果があったのかという、そういうところの質疑にできるように自分自身も注意はしていましたけれども、その辺をもっともっと精査して質疑に取り組みたら今後いいのかなというふうに思っています。そのぐらいかな。

以上です。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

では、岩井委員、お願いします。

○委員（岩井良枝） 今まで皆さんがおっしゃってくれた中身でいいと思うのですが、たとえば説明をしていただく課長の中にも私たちが今まで聞いていた数字とか、ここが減った理由とか、いろんなそういうところまで説明の中に入れてくださっていて、そういう形でやっていただくと私たちのほうでも聞くものが減っていくのかなと、今回何人かの課長さんは最初の説明のときにそこまで言うてくださったので、そこのところは随分お互いにそういうところで時間短縮をしていけばいいのかなというの思いました。ですので、2日間でということならば、それはもうそれで時間内で終わるように私たちもしていなければいけないのだろうなというふうには思いました。

あと内容のところなのですけれども、やはりいろんな事業をした後の検証というのはやっぱりしていただきたいという部分で、その後市民の方がそれを続けてやっているのかとか、それをやったことでもっとどういうふうにつながっているのかという部分というのは、ちゃんと私たちも知りたいところで、ちょっとその後は把握していませんみたいなものも幾つかあったのですけれども、そうではなくて市としてやった事業ですので、ぜひその辺は一つ一つどうだったのかということは捉えておいていただきたい。それから、もし聞けることがあるならば市民の方にもご意見を聞いたりとか、担当した職員とか、課の中でもそういうことというのはしっかりと残していくべきかなというの思いました。

以上です。

○委員長（杉山茂規） ありがとうございます。

○委員（土屋秀明） 現地に行ったときに、どこだったけか、東小だったっけか……

○委員長（杉山茂規） 東小ですね。

○委員（土屋秀明） 放課後児童室のところ行ったのだけれども、あのときに市の職員に中身について聞くのはそれはもちろんだろうけれども、相手側業者の人、業者というかそこで働いておられる、知っている人であってもその人からは、例えばどうい話をしたかはちょっと分からないですけれども、もしその仕事の内容についていい悪いようなことをお話をもしするのだったら、視察に行ったときだとすると、それはふさわしくないなと思います、それは。

○委員長（杉山茂規） 岩井委員。

○委員（岩井良枝） 知っていた方ではなかったのですけれども、子供たちの様子とか、1部屋増えたことでどうだったのか、またコロナのときはどうでしたかみたいなお話は……

○委員（土屋秀明） いや、だからそれを聞くのはいいのだけれども、聞く相手が違うのではないかなということです。市の職員でないと、相手は違う人ではないですか。知っている人ですよ、私も、手綱さんですから、あの女性は。

○委員（岩井良枝） 私は知らない人でした。

○委員長（杉山茂規） 今お話の中で、決算が2日間で行われたということの中ではおおむね皆さんの中からは今後も継続していくべきではないかというふうな話ではなかろうかと思います。そして、また説明が丁寧にしていただくことで質疑をするべきところがしなくてもよくなったと、そんなようなところもお話としてはありました。そして、また出た意見の中では事業を行った後の検証がちょっと足りないのではないか。検証することが重要であるというふうなことも意見の中ではありました。一応その辺については取り上げさせていただきたいと思います。

浅田委員。

○委員（浅田基行） あと今全員の意見を聞いて、短期間というか、2日間でやるといういい部分と、やはり審査という部分が要はその時間とか期間とか短くすることをあまりにも優先しすぎたために、要は深掘りできないといいますか、本来聞くべきところを聞けずという風潮というのですか、流れもあまりよくないものですか、その辺というのは双方のレベルを上げていくということでは非常に大事かと思うのですけれども、そこを我々はしっかり審査するという根底のある中で、広く浅すぎても駄目だなという印象がありますので、そこがちょっと難しいところではあるのですけれども、本当はもっともっと時間かかってでもこれはやっぱりやらなければいけないというところもケース的にはあった場合にどんな風潮になるかという、そういうのは時にはあるのかなというような気はしているので、そういった風土になればいいなと。

以上です。

○委員長（杉山茂規） 分かりました。ありがとうございます。

では、私、委員長、杉山からです。ちょっと采配のところがかうまなくて時間がかかってしまったところがありまして、まずは申し訳ありませんでした。

ただ、質疑の中で私の場合なのですが、過去2年分の決算と予算の会議録を読むようにしていきまして、それを読むと今回質疑の中で、これ載っていたなというのが結構ちらほらあったかなというような印象を受けました。これは事前にこの場で説明を聞いて審査をするというよりも、どちらかというともう頂いているわけなので、事前に確認をして、この場ではただ本当に質疑するポイントを定めた上で聞くような形ということで時間を短縮すれば、多分浅田委員の言われた奥にどんどん深掘りをしていくというような時間もどんどん生まれてくるのではないかなと、そのように感じるころはあります。

私自身もまた今後いろいろまだ分からないことはあるのですが、一応今後そのような視点でしっかりと準備をしながら、そしてまたその事業の効果がどのような形でできてきているか、それが今後どのようにつながっていくのか、そんなような視点を求めながらやっていきたいなというふう感じた次第です。

ほかにまた何か意見ありましたらお願いいたします。よろしいですかね。

ということで、2日間の話につきましては浅田委員が最後に言われたところ、速さを優先ばかりではいけないよと、しっかりと審査をするところ、そこがまずは中心であるということも書き添えた形で報告をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○委員長(杉山茂規) 以上で本分科会に割り振られました議案の審査は全て終了いたしました。

決算関係の議案につきましては、来る10月6日の予算決算委員会で分科会委員長報告をいたします。審査にご協力賜りましたことに感謝申し上げます。予算決算委員会厚生文教分科会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

17時04分 閉会